ORION

取扱説明書

保証書付き

地上･BS･110度 CSデジタルダブルチューナー搭載

液晶テレビ

型番

OL50SE100

この度は、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことがあった時に再読してください。

本書の最終ページにある保証書に、**「販売店名」「購入日」などが記入されていることを必ずご確認のうえ**、お買い上げの販売店からお受け取りください。

株式会社ドウシシャ

9A26A

安全上のご注意

（この取扱説明書の文中に出てくる「テレビ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています）

ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所にかならず保管してください。

本機は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、かならずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

図記号の意味と例

	**⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）**
	**●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）**

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1. テレビ内部の温度が上昇しますので通風孔をふさがず、周囲に10cm以上の間隔をあけてください。
2. 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3. テレビ内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。異常時は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
4. ちり、ほこりを取るためテレビ内部を掃除するときは、販売店もしくはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

⚠警告


禁止

電源コードや電源プラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。


高圧注意


分解禁止

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調節、修理は、販売店にご相談ください。


水場での使用禁止


絶対に水にぬらさない

内部に異物や水分を入れない
金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアーピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。


接触禁止

雷が鳴りだしたらプラグに触れない
感電の原因となります。



ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない

炎が近づくと、火災の原因になります。



交流100ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



不安定な場所に設置しない

本機が落下または転倒すると、死亡または重傷を負う原因となることがあります。
多くの傷害、特にお子様に対するものは、以下のような予防処置をとることによって、避けることができます。本機を設置するときや、移動するときには、以下のような予防処置をしてください。

- 本機をご使用になる前に、必ず付属のスタンドを取り付けてください。取り付けには付属の取付用ネジを使用して固定してください。
- 落下や転倒によるけがや物損事故の原因となることがありますので、ぐらついた台や傾いた台などに設置しないでください。
- 設置場所や取り付けに気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
- 台などにのせて設置するときは本機が台などの端からはみ出さないように設置してください。
- 食器棚や本棚などの背の高い家具や台などにのせて設置するときは、必ず落下および転倒防止の処置をしてください。
- 台などの上に布などを敷いて本機を設置しないでください。
- 本機の上や本機を設置した台や家具などの上に、お子様がよじ登りたくなるようなもの(玩具やリモコンなど)を置かないでください。
- 本機または本機の操作部に触れるために家具などの上によじ登ることの危険性を、お子様に教育してください。



人が通行するような場所には置かない。コード類は正しく配置する。

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因になる恐れがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはドウシシャお客様相談室に修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意



湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。油分によりスタンドやキャビネットの強度が低下し、落下や転倒によるけがや物損事故の原因になる恐れがあります。

安全上のご注意（つづき）


禁止

通風孔をふさがない
通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。
内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。
- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から10cm以上の間隔をあけてください。


禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。


指示

水平で安定した所に置く
倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。


プラグを抜く

安全のため電源プラグを抜く
次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故を防ぎます。
- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合


ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因となることがあります。


指示

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を
長い間コンセントに電源プラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。電源プラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。


指示

思わぬ事故を防ぐために
- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントや電源プラグに異常がないか確かめる。
- 本機の設置や持ち運びは2人以上で行う。


指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない
液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、液晶パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師にご相談ください。


禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害を起こすことがあります。


指示


禁止

電池の取り扱いについて（リモコンの電池）
電池の使いかたを誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。
- ＋－の指示通りに入れる。
- 指示以外の電池は使用しない。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- 電池の充電、ショート、分解、火への投入、加熱などしない。
- 液漏れがあった場合は、その液に触れない。
- 小さなお子様の手の届くところに電池を置かない。
- 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従う。


指示

リモコンによる操作について
リモコンを使用するときは、本機が見える場所から操作してください。

使用上のご注意とお願い

輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。
これは故障ではありません。

お手入れについて

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
  汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。
    また、化学ぞうきんの使用は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
    ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。
  液晶パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - 液晶パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
    傷付き・変色の原因となります。
  - 液晶パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。
    色ムラ・変色の原因となります。
  - 液晶パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。
    傷付き・変色の原因となります。

輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネルの破損や面欠点の増加の恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、液晶パネル表面や本機の上部が熱くなる場合があります。
熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。
また、本機の上に、タオルをかけたり、ものを置かないでください。

室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。

連続使用について

本機は、24時間連続使用を前提とした設計ではありません。
有寿命部品（バックライト、アルミ電解コンデンサ）の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご利用は避けてください。

廃棄時にご注意願います

- 2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式／液晶式／プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- 本機を廃棄（または譲渡）する場合には、設定メニュー「設定情報リセット」を行って、本機内の個人情報を消去してください。
- NHKや有料放送の契約がある場合は、各放送局に解約または変更の連絡をしてから、廃棄（または譲渡）をしてください。

ご使用になる前に

USBメモリーについて

USBメモリー

・ファイルシステム　FAT32

・USB2.0対応

本機は、USBマスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマスストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

・本機で使用できるUSBメモリーは32GB以下です。

・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。

・本機では、USBメモリー内のファイルを移動させることはできません。

・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

B-CAS カードについて

デジタル放送を視聴していただくために、付属しているmini B-CAS（ミニビーキャス）カードは、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などをした場合は、速やかに(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。

お客様の責任で破損、故障、紛失などをした場合は、再発行費用が請求されます。

乾電池について

乾電池を扱うときには

・指定以外の乾電池は使用しない。

・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。

・極性表示を間違えないで挿入する。

・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。

・液もれがおきたら使用しない。
乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。

・長時間使用しないときは、乾電池を取り外してください。

・使いきった乾電池や使用推奨期限の過ぎた乾電池はすぐに取り外し、使用しないでください。

著作権について

・本機の録画機能を使用して録画した番組は、著作権法で認められた私的使用の範囲内でお楽しみください。著作権者の許諾を得ずに、録画した番組を複製、配布、インターネットなどで公開することは、著作権法により禁止されています。

免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるメモリーなどへの記録された内容の損害および録音・再生など、お客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

記録されたものの使用についても、当社は一切の責任を負いません。

使用されたUSBメモリーなどが原因での本機の故障については、保証期間であっても保証対象外となり、当社は一切の責任を負いません。

地上デジタル放送について

・UHFアンテナで受信できます。

・ケーブルテレビでも地上デジタル放送を受信できます。ご契約、またはご契約予定のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

※本機では、部分受信サービス（ワンセグ）は受信できません。

BS・110度CSデジタル放送について

・BS・110度CSデジタル方法を視聴するには、BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。

・BS・110度CSデジタル放送は放送衛星を使用して送信され、一部のチャンネルは有料放送となっています。有料放送を視聴するにはご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

お知らせ

地上デジタル・BS・110度CSデジタル放送には、以下の3種類の放送があります。

●テレビ放送：　従来のテレビ放送です。

●データ放送：　お住まいの地域の生活情報や天気予報、ニュースなどの放送です。dボタンを押すとデータ放送を表示できます。

●ラジオ放送：　音声を主とした放送です。

商標とライセンス

HDMI

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

目　次

● はじめに

安全上のご注意 2
使用上のご注意とお願い 5
輝点・欠点について 5
お手入れについて 5
輸送について 5
本機の温度について 5
室内温度について 5
バックライトについて 5
連続使用について 5
廃棄時にご注意願います 5
ご使用になる前に 6

● 準備

付属品を確認する 8
各部の名称 (本体) 9
本体前面 9
本体背面 10
入出力端子部 10
各部の名称 (リモコン) 11
リモコン 11
準備 12
リモコンの電池の取り付け 12
リモコンモードの切り換え 12
設置 13
スタンドの取り付け 13
壁掛・モニターアームなどへの取り付け 13
転倒防止の処置 14
アンテナ線を接続する前に 15
アンテナ線のつなぎかた 15
インターネットの接続 16
B-CAS カードの取り付け 16
外部機器の接続 17
かんたん設置設定のしかた 18
準備 18
かんたん設置設定 18

● 基本の操作

テレビの操作 19
テレビ放送を観る 19
番組表を確認する 19
視聴予約をする 20
視聴予約を確認する・削除する 20
番組を検索する 21
視聴制限を一時的に解除する 21
番組データを取得する 21
表示チャンネルの範囲を変更する 21
番組連動データ放送を楽しむ 22
データ放送について 22
双方向サービスについて 22
ブルーライトガードを使う 22
オフタイマーを使う 22
オンタイマーを使う 22
外部接続機器を表示する 23
HDMI連動対応機器と接続する 23
録画・予約機能について 24
録画できる機器と番組 24
USBハードディスクを接続する 24
USBハードディスクを登録する 24
USBハードディスクを取り外す 25
録画をする 26
すぐに録画を開始する 26
録画を予約する 26
録画予約を確認・変更する 27
録画可能時間を確認する 27
録画した番組を再生する 28
録画した番組を再生する 28
録画番組を消去する 28
追いかけ再生 29
チャプター再生 29
ABリピート 29
タイムシフト再生 29
録画番組の再生時のサブメニュー 29
録画一覧のサブメニュー 29
メディアプレーヤーを使う 30
メディアプレーヤーを起動する 30
写真を見る 30
スライドショー再生する 31
スライドショーの設定を変更する 31
動画を見る 32
リピート再生 32
タイムシフト再生 32
文字入力 33

● 調整と設定

各種設定 34
設定メニュー 34
サブメニュー 38

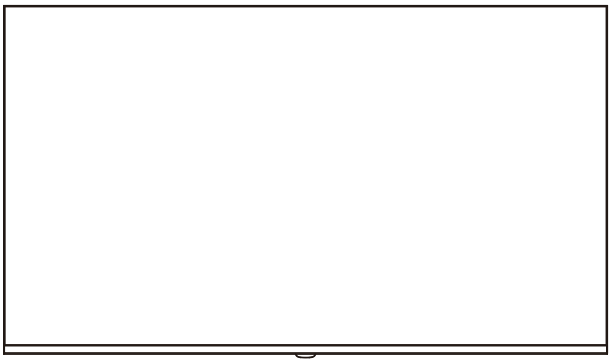
● その他

エラー表示 40
故障かな?と思ったら 42
主な仕様 46
保証とアフターサービス 48

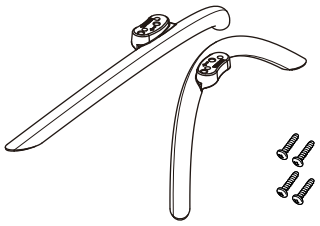
付属品を確認する

本製品をご購入時には、以下のものが含まれています。すべて揃っているかご確認ください。

本体

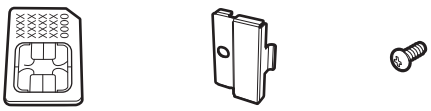


スタンド



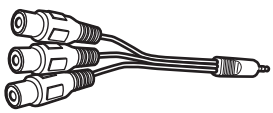
スタンド×2、スタンド取付用ネジ×4

B-CASカード



mini B-CASカード×1、B-CASカードカバー×1、固定ネジ×1

ビデオ入力用変換ケーブル



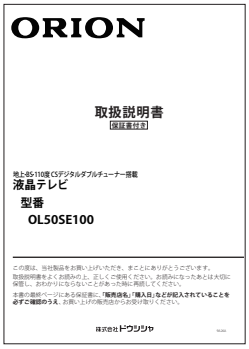
ビデオ入力用変換ケーブル×1

転倒防止用フック



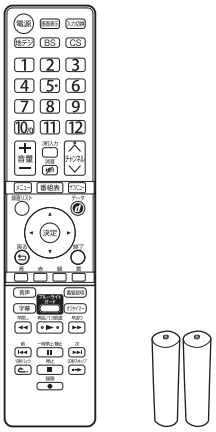
転倒防止用フック×2、
ネジ×2

取扱説明書



取扱説明書×1
(保証書付き)

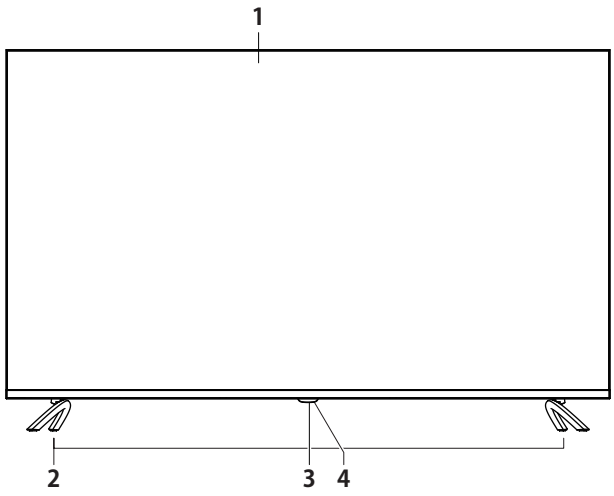
リモコン



リモコン×1、単4形乾電池×2

各部の名称（本体）

本体前面

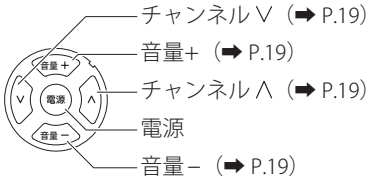


1： 液晶画面　　2： スタンド　　3： 電源ランプ・リモコン受光部
4： 本体ボタン

電源ランプについて

電源オフ（本体電源オフ）	： 消灯	予約あり（リモコン電源オフ）	： 赤と緑点灯
電源オフ（リモコン電源オフ）	： 赤点灯	録画中（リモコン電源オフ）	： 赤と緑点灯
電源オン	： 緑点灯	録画中（電源オン）	： 赤と緑点灯

本体ボタンについて

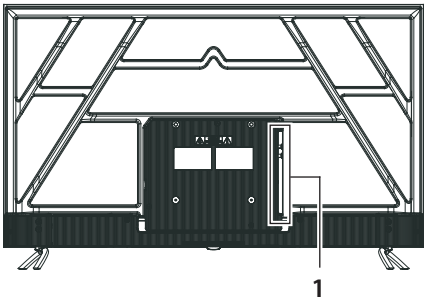


⚠ご注意

- 電源を入れたとき、電源ランプが緑色で数秒間早く点滅してから電源が入ります。

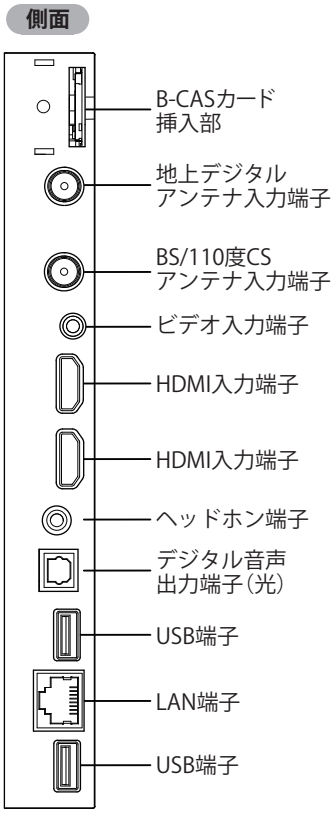
各部の名称（本体）（つづき）

本体背面



1 ： 入出力端子・B-CASカード挿入部

入出力端子部

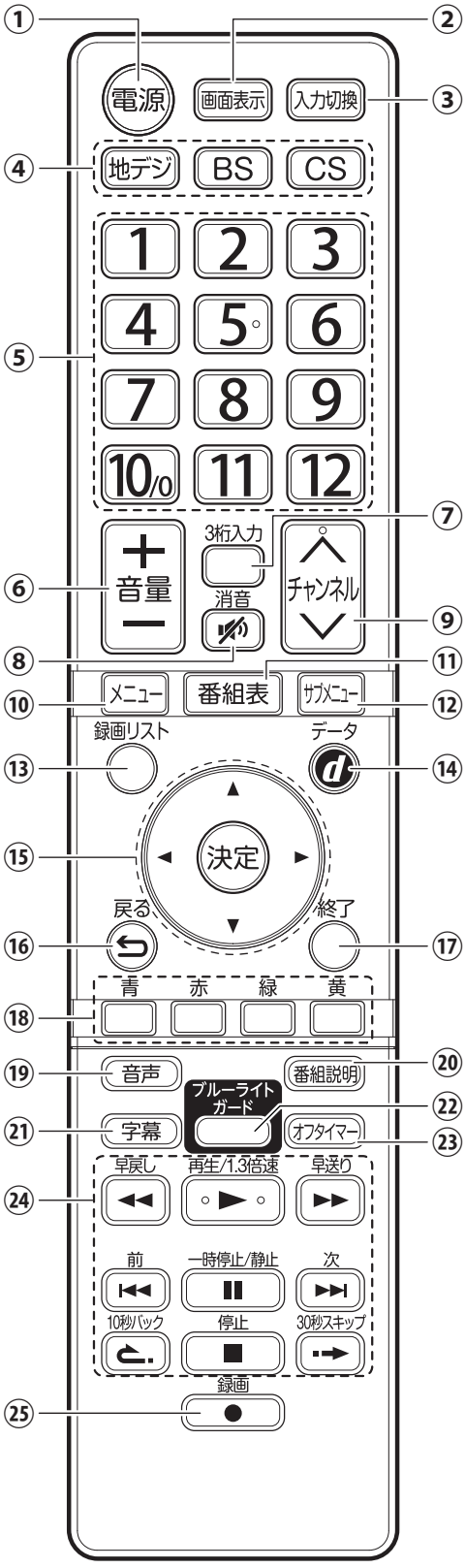


⚠ご注意

- USBメモリーやUSBハードディスク以外の機器（携帯電話など）は接続しないでください。
  接続すると、本機および接続機器の故障の原因となることがあり、これらの故障については責任を負いかねます。

各部の名称 (リモコン)

リモコン



① **電源ボタン**
本機の電源オン/オフに使います。

② **画面表示ボタン**
画面表示のオン/オフに使います。

③ **入力切換ボタン**
外部入力の切換に使います。

④ **放送波ボタン(地デジ/BS/CSボタン)**
地上デジタル放送/BS放送/CS放送を切り替えます。

⑤ **数字ボタン**
チャンネルの直接入力やメニュー操作、文字入力に使います。

⑥ **音量ボタン**
音量の調節に使います。

⑦ **3桁入力ボタン**
チャンネルなど、3桁の番号入力に使います。

⑧ **消音ボタン**
音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

⑨ **チャンネルボタン**
チャンネルを順送り・逆送りに切り替えます。

⑩ **メニューボタン**
メニューを表示します。

⑪ **番組表ボタン**
番組表を表示します。

⑫ **サブメニューボタン**
サブメニューを表示します。

⑬ **録画リストボタン**
録画した番組のリストを表示します。

⑭ **dボタン**
テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。

⑮ **方向/決定ボタン**
メニューなどでカーソル移動や決定に使用します。

⑯ **戻るボタン**
メニュー画面表示中に、1つ前の画面に戻ります。

⑰ **終了ボタン**
番組表やメニュー画面などの表示を終了します。

⑱ **青/赤/緑/黄ボタン**
メニュー画面やデータ放送などの操作に使います。

⑲ **音声ボタン**
音声多重放送のときに音声を切り替えます。

⑳ **番組説明ボタン**
視聴中の番組詳細を表示します。

㉑ **字幕ボタン**
字幕放送のときに字幕を表示します。

㉒ **ブルーライトガードボタン**
ブルーライトガードモードのオン/オフに使います。

㉓ **オフタイマーボタン**
オフタイマーを設定します。

㉔ **再生コントロールボタン**
録画の操作や録画した番組、メディアプレーヤーの再生コントロールに使用します。

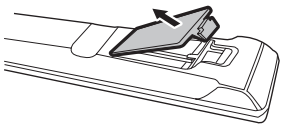
㉕ **録画ボタン**
デジタル放送番組を録画するときに使用します。

準 備

リモコンの電池の取り付け

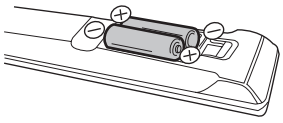
付属の乾電池をリモコンの裏面の電池ケースに取り付けてください。

1 **リモコン裏面の電池ぶたを押しながら矢印の方向に開きます**

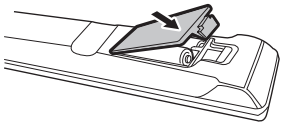


2 **乾電池の⊕⊖極の方向に注意して、乾電池を入れる**

⊖極側を先に入れてください



3 **電池ぶたを矢印の方向に閉める**



⚠ ご注意

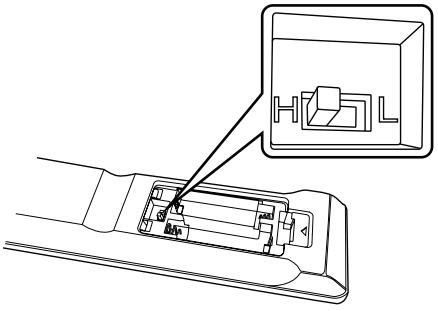
- 新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から液もれすることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の電極の向きが正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい方向に入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り外してください。
- 付属の乾電池はお試し用です。
  早めに新しい乾電池と入れ換えてください。

リモコンモードの切り換え

リモコンの電池ぶたを開けた電池ボックス上部のスイッチにより、リモコンモードを設定できます。
スイッチをH側（背面から見て左側）にすることでHモード、L側（背面から見て右側）にすることでLモードとなります。
それぞれのモードではリモコンの信号の到達距離が変わります。近くのテレビが誤動作してしまうようなときは、Lモードにしてご使用ください。



設 置

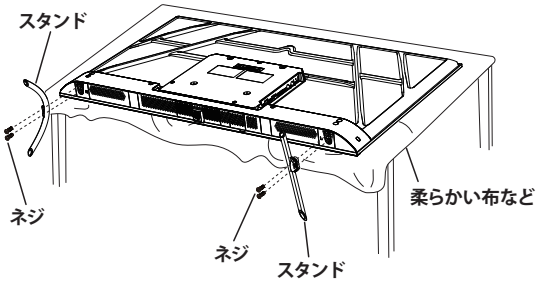
スタンドの取り付け

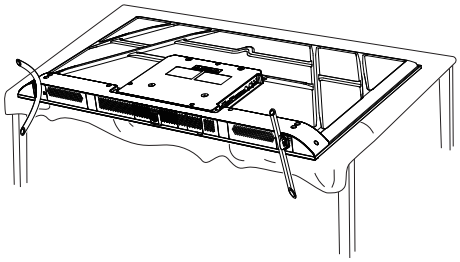
本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。

1 **台などの上に柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **右図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属の固定ネジで固定する**

スタンド取付部の形は、左右で同じです。
お手持ちの適切な大きさの＋（プラス）ドライバーを使用してガタつきがないようにしっかりとネジをしめてください。





⚠ご注意

- スタンドの取り付け方を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
- 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。
圧力でパネルガラスが破損する可能性があります。
- 電動ドライバーは使用しないでください。

保護テープを外す

本機を立てて、スタンドが正しく取り付けられたことを確認し、本体の保護テープを取り外してください。

壁掛・モニターアームなどへの取り付け

本機は市販の壁掛け金具を使用して壁に取り付けたり、モニターアームなどへも取り付けることができます。

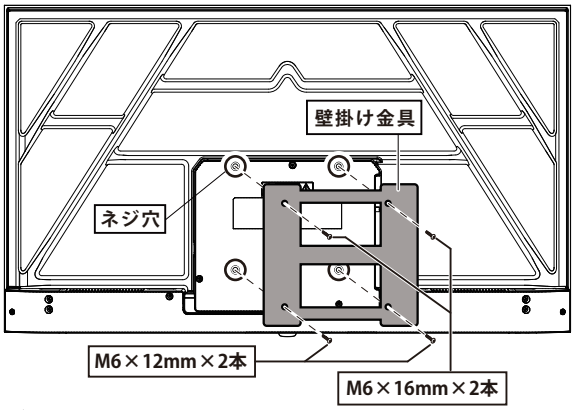
- **本機を取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。**
- **壁への取り付けが不完全または誤った取り付けかたをすると、本機が落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。**

お知らせ

VESA 規格に準じた金具をご使用できます。
本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください（電源コード、接続するHDMIケーブルなどの重量も考慮してください）
ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調節してください。

下記の条件に合った金具をご使用ください。

ネジ穴寸法	**：200mm×200mm（VESA規格）**
耐荷重	**：7.9kg以上**
取り付けネジ	**：M6×16mm×2本** **M6×12mm×2本**



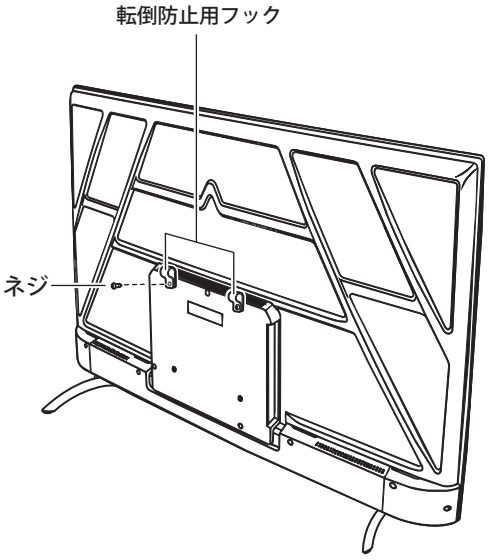
⚠ご注意

- 長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。（ワッシャーを入れて調節ください）
- 油煙や湯気が当たるところには設置しないでください。
油分によりキャビネットの強度が低下し、本機が落下するおそれがあります。
- 電動ドライバーは使用しないでください。
- 電源コードの位置に注意して取り付け金具を選択してください。
- 本機を壁掛けで使用するときは、スタンドを取り外してください。
- 取り外したスタンドとスタンド取付用ネジは大切に保管してください。

設 置 （つづき）

転倒防止の処置

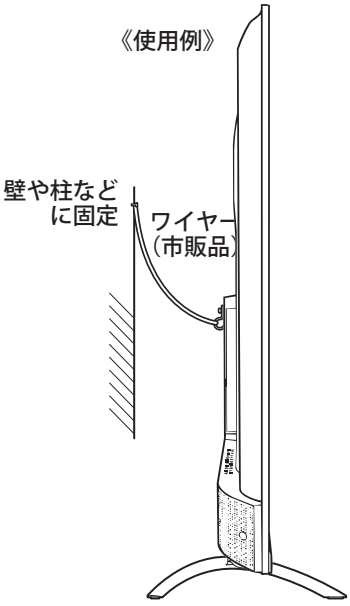
地震などでの本体転倒によるけがや物損事故などの危害を軽減するため、市販の転倒防止用品などを使用して転倒防止の処置をしてください。
付属の転倒防止用フックは、下記のように使用してください。



1 **付属の転倒防止用フック（2個）を付属のネジで固定する**

転倒防止用には、上の掛け金具取り付け用ネジ穴・2か所に付属のネジをご使用ください。
お手持ちの適切な大きさの手回しの＋（プラス）ドライバーを使用してガタつきがないようにしっかりとネジをしめてください。

2 **転倒防止用フックに、丈夫なワイヤー（市販品）などを通して、壁などにしっかりと固定する**



⚠ご注意

- ワイヤーなどの市販品を使用してしっかりとした壁や柱（梁や吊り束、桁）などに固定してください。
- 壁や柱などの強度によっては、転倒防止効果が大幅に減少することがありますので、その場合は適切な補強を施してください。
- 転倒防止の処置は、けがや物損事故などの危害を軽減するためのもので、すべての地震などに対して効果を保証するものではありません。

アンテナ線を接続する前に

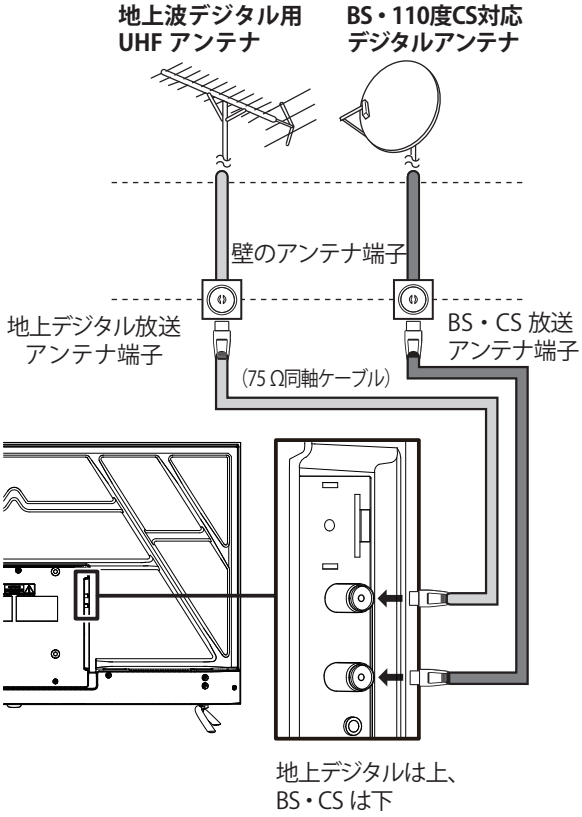
⚠ご注意

- アンテナ線を接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- ご使用になるアンテナプラグは、タイプAの形状を推奨します。タイプBの形状はアンテナ端子への接続がしにくいものがありますので、ご注意ください。

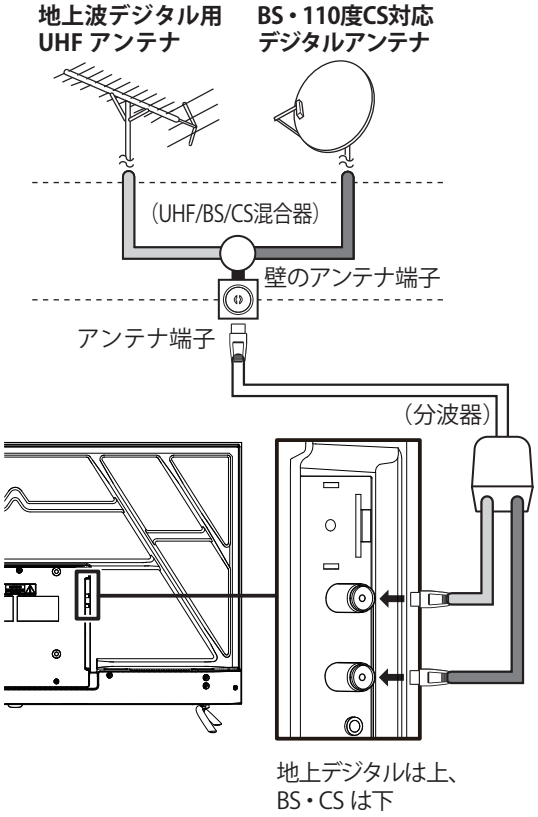


アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送を視聴するにはUHF対応のアンテナ、BS・110度CSデジタル放送を視聴するにはBS・110度CS対応のデジタルアンテナを使用してください。
お使いのアンテナがUHF対応でも、地域やアンテナ設置状況によって、取り換えや調整、またはブースターの追加などが必要になる場合があります。
接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは本製品に付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。



● UHF アンテナ・BS・CS アンテナが個別のとき



●UHF・BS・CSが混合のとき（例：UHF/BS混合入力）

お知らせ

- 天候などの影響により受信信号レベルが変動します。
  アンテナレベルが足りないときはブースターなどで調整してください。
- ケーブルテレビで受信しているときは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 特定のチャンネルが受信できなかったり受信状況が悪いときには、お買い求めの衛星アンテナの製造元やお買い求めの販売店にご相談ください。
- 本機ではBS・110度CSによる4K・8K放送は受信できません。

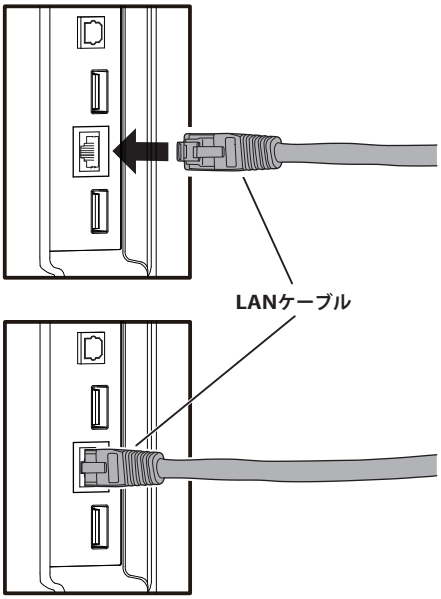
設 置 （つづき）

インターネットの接続

双方向サービスを利用するためには、インターネットに接続する必要があります。（➡ P.22）
あらかじめプロバイダー契約など、インターネットに接続できる環境にしておく必要があります。

接続の際には、自宅のルーターとLANケーブルでイーサネット接続をします。
・LANケーブルは長さに余裕を持った接続をしてください。
・LANケーブルのプラグを差し込んだとき、「カチッ」と音がしてロックされ、外れないようになっていることを確認してください。

接続例

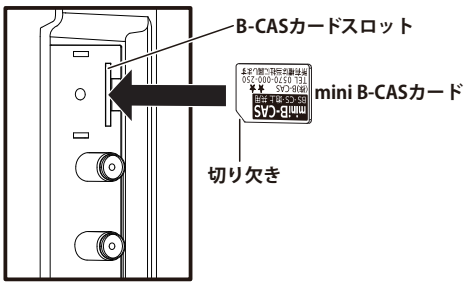


B-CAS カードの取り付け

本機でデジタル放送を視聴するには、mini B-CASカードが必要です。付属のmini B-CASカードを常にB-CASカードスロットに入れておいてください。

⚠ご注意

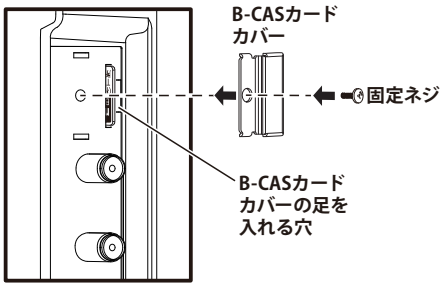
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態でmini B-CASカードの抜き差しを行ってください。mini B-CASカードを挿入するときは、カードの向きにご注意ください。
  切り欠きが下になるようにしっかりと挿入してください。
- mini B-CASカードを挿入するときは、「カチッ」という音がするまで確実に挿入してください。挿入が不十分だと、カードが正常に認識されません。
- mini B-CASカードを挿入するときに、mini B-CASカードの金色端子部に決して指で触れないよう注意してください。もし触れたときは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- 間違った差し込みによるmini B-CASカードの破損、紛失などの場合は、製品保証期間内でもお客様の費用負担（有償）となりますのでご注意ください。

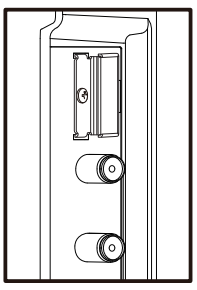


B-CAS カードカバーを取り付ける

mini B-CASカードの脱落や紛失を防止するためのカバーが付属しています。

・mini B-CASカードを正しく取り付ける
・B-CASカードカバーの足を本体画面側の穴に取り付ける
・B-CASカードカバーの上から付属のネジを取り付ける





外部機器の接続

■ パソコンの接続

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号を入力してください(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。

■ 接続ケーブル

- 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。

⚠ご注意

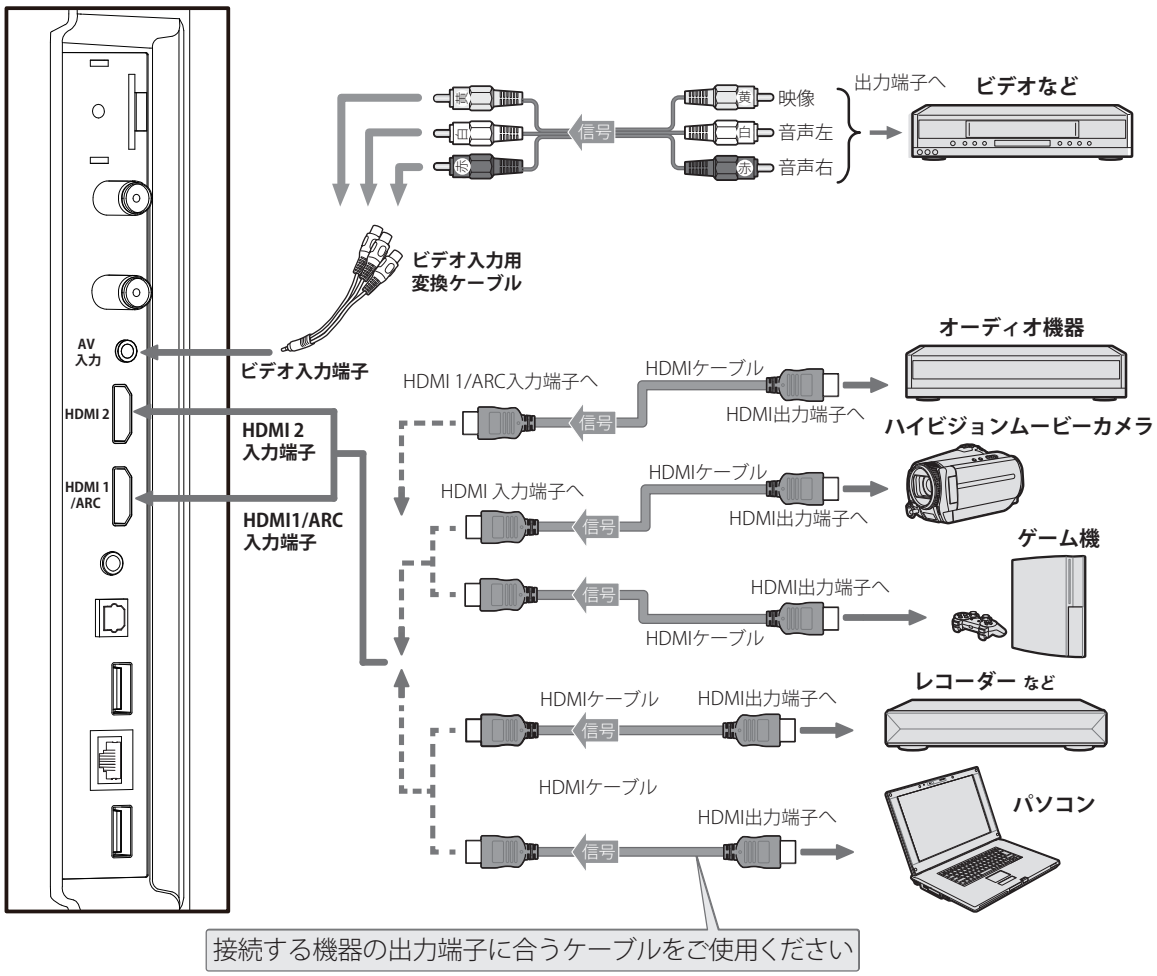
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ AV 機器の接続

- アナログのビデオ出力は、付属のビデオ入力用変換ケーブルをビデオ入力端子に接続し、プラグの色(赤・白・黄色)を合わせてケーブルを接続してください。

■ オーディオ出力

- スピーカーなど接続するときは、本体背面にあるデジタル音声出力端子(光)やHDMI1/ARC端子、ヘッドホン端子を使用してください。



かんたん設置設定のしかた

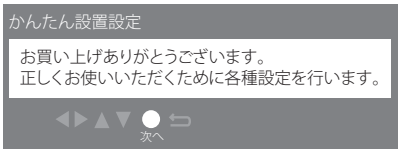
初めて電源を入れたときに自動的にかんたん設置設定が表示されます。
画面の案内に従い、順次設定を行ってください。
現在放送されている電波を受信していきますので、確実にチャンネル設定をするためには、放送を停止している局がある平日深夜（NHK Eテレなど）や日曜深夜を避けて全局放送している時間帯に設定してください。

準備

- アンテナを正しく接続してください。
- mini B-CASカードを本機に挿入してください。
- お好みによりLANケーブルを接続してください。

かんたん設置設定

1 **「かんたん設置設定」が表示されます**
画面の内容を確認後、決定ボタンを押してください。



2 **「LANケーブルの接続」「アンテナ線の接続」「B-CASカードの挿入」の確認をする**
接続の確認後、決定ボタンを押してください。

3 **画質設定する**
◀/▶方向ボタンで「ご家庭用」または「店頭用」を選び、決定ボタンを押してください。

4 **郵便番号を入力する**
本機を設置している場所の郵便番号を入力してください。
▲/▼方向ボタンもしくは数字キーで郵便番号を入力し、決定ボタンを押してください。

5 **都道府県を選択する**
◀/▶方向ボタンで本機を設置している都道府県を選択し、決定ボタンを押してください。

6 **B-CASカードのテストをする**
決定ボタンを押してください。
画面に「テストが正しく終了しました。」と表示されたら再度決定ボタンを押してください
- 「B-CASカードが正しく挿入されていません。」と表示されたときは、16 ページの「B-CASカードの挿入」を参照し、B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。

7 **チャンネルスキャンをする**
決定ボタンを押してください。
地域設定画面で、◀/▶方向ボタンで地域を選び、決定ボタンを押してください。
受信帯域画面で◀/▶方向ボタンで「UHF」または「全帯域」を選び、決定ボタンを押してください。

スキャンが始まります。

8 **スキャン結果を確認する**
スキャン終了後に、チャンネル一覧と「チャンネル設定修正/アンテナレベル確認」画面が表示されます。
◀/▶方向ボタンで「次へ」を選び、決定ボタンを押してください。

リモコンに自動的に割り当てられたチャンネルを入れ換えたいときや各チャンネルの受信レベルを確認したいときは、◀/▶方向ボタンで「修正する/確認する」を選び、決定ボタンを押し、案内に従って操作してください。

9 **衛星アンテナの電源供給を設定する**
◀/▶方向ボタンで「アンテナ電源オフ」「アンテナ電源オン」「接続しない」を選び、決定ボタンを押してください。

<u>アンテナ電源オフ</u>
マンションやCATVなど共同アンテナを利用している場合や別の機器から電源を接続している場合
<u>アンテナ電源オン</u>
本機のみ接続している場合など本機から電源を供給する場合
<u>接続しない</u>
BS/CSアンテナを接続していない場合

10 **番組データの受信の案内が表示されます**
決定ボタンを押してください。

11 **「かんたん設置設定はこれで終わりです。」と表示されます。**
決定ボタンを押してください。

テレビの操作

テレビ放送を観る

1 **観たい放送波ボタン（地デジ 地デジボタン、BS BSボタン、CS CSボタン）を押す**

2 **チャンネルを選局する**

1. 数字ボタンでチャンネルをダイレクトに選局する。（チャンネル登録されていない数字もあります）
2. チャンネルボタンで順（逆順）にチャンネルを選局する。
   ※本体のチャンネルボタンでも選局できます。
3. 3桁入力 3桁入力ボタンを押してから、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力する。
   ※サブメニュー サブメニューを押し、「3桁入力選局」を選んでも入力できます。
4. 番組表 番組表ボタンを押して番組表を表示し、現在放送中の番組を選択し、「今すぐ見る」を選択する。

3 **音量を調整するときは音量ボタンを押す**

音量が数字とバーで表示されます。
音量+を押すごとに音量が大きくなり、音量-を押すごとに音量が小さくなります。

4 **音だけを消したいときは 消音ボタンを押す**

もう一度押すと元の音量に戻ります。
※音量+/-を押しても音が出ます。

5 **音声切換をするときは 音声 音声ボタンを押す**

二か国語放送や解説放送などの音声を切り換えることができます。

6 **字幕表示の入/切をするときは 字幕 字幕ボタンを押す**

字幕のある番組で字幕表示を入/切することができます。

7 **連動データ放送を表示するときは dボタンを押す**

データ放送は放送局により表示される内容が異なります。画面に表示された操作指示に従ってください。

8 **現在視聴している放送番組名などを確認するときは 画面表示 画面表示ボタンを押す**

画面右上に放送時間・番組名・放送局名などが数秒表示され、その後チャンネルのみ表示が続きます。
画面表示を消すときは、再度 画面表示 画面表示ボタンを押してください。

9 **現在視聴している放送番組情報などを確認するときは 番組説明 番組説明ボタンを押す**

放送時間・番組名・番組概要・番組詳細内容などが表示されます。
画面表示を消すときは、再度 番組説明 番組説明ボタンを押してください。

10 **画面を一時的に止めたいとき 一時停止/静止 一時停止・静止ボタンを押す**

表示中の映像が静止します。
再度 一時停止/静止 一時停止・静止ボタンを押すと通常の映像に戻ります。

お知らせ

- 静止中も映像は進んでいきますので、静止から通常表示に戻した場合、その間の映像はスキップされます。
- 音声や字幕は停止しません。
- 外部入力では、静止できません。

番組表を確認する

1 **番組表 番組表ボタンを押す**

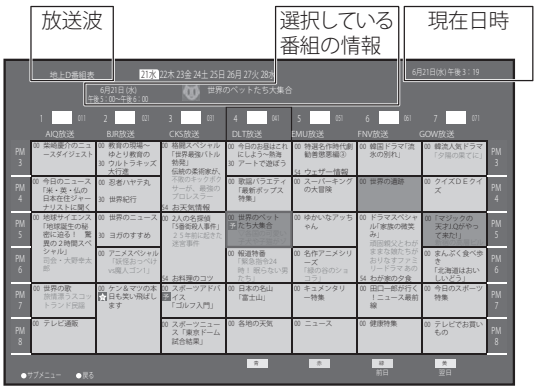
現在受信中の放送波の最新の番組表が表示されます。
番組表は8日分表示することができます。

2 **観たい放送波ボタン（地デジ 地デジボタン、BS BSボタン、CS CSボタン）を押す**

左上の放送波の部分が変化し、番組表が変わります。

3 **▲/▼/◀/▶ 方向ボタンで番組を選択し、決定 決定ボタンを押すと番組の詳細が表示されます**

番組詳細情報で表示しきれていない部分は、▲/▼方向ボタンで上下させて読むことができます。



お知らせ

- 「かんたん設置設定」直後は、まだ番組情報を完全に取得できていないため、すべてのチャンネル番組表が表示されない場合があります。リモコンの電源ボタンで電源を切った場合は、毎日自動的に番組情報を取得します。

テレビの操作(つづき)

視聴予約をする

1 **番組視聴中に番組表 番組表ボタンを押す**

現在受信中の放送波の最新の番組表が表示されます。

2 **視聴予約をしたい放送波ボタン(地デジ 地デジボタン、BS BSボタン、CS CSボタン)を押す**

左上の放送波の部分が変化し、番組表が変わります。

3 **▲/▼/◄/► 方向ボタンで番組を選択し、決定 決定ボタンを押すと番組の詳細が表示されます**

番組詳細情報で表示しきれていない部分は、▲/▼方向ボタンで上下させて読むことができます。

4 **画面左下の「録画予約」「視聴予約」から ◄/► 方向ボタンで「視聴予約」を選択し、決定 決定ボタンを押す**

- 番組表で視聴予約した番組に 予(青色)アイコンが付きます。



お知らせ

- USB HDDを接続していないときは、「録画予約」は表示されません。
- 電源オフ状態で開始時刻になった場合は、視聴予約は実行されません。

視聴予約を確認する・削除する

1 **番組視聴中にサブメニュー サブメニューボタンを押す**

画面左側に「サブメニュー」が表示されます。

2 **▲/▼方向ボタンで「予約一覧」を選択し、決定 決定ボタンを押す**

3 **▲/▼/◄/► 方向ボタンで番組を選択し、決定 決定ボタンを押すと番組の詳細が表示されます**

番組詳細情報で表示しきれていない部分は、▲/▼方向ボタンで上下させて読むことができます。

4 **視聴予約を削除する場合、◄/► 方向ボタンで「予約削除」を選択し、決定 決定ボタンを押す**

予約一覧で黄色ボタンを押して削除することもできます。





番組を検索する

1 **番組表表示中にサブメニューボタンを押す**

2 **▲/▼方向ボタンで「番組の検索」を選択し、決定ボタンを押す**
「番組の検索」画面で再度決定ボタンを押す

メインジャンル画面が表示されます。

3 **▲/▼方向ボタンで検索したいメインジャンルを選び決定ボタンを押す**

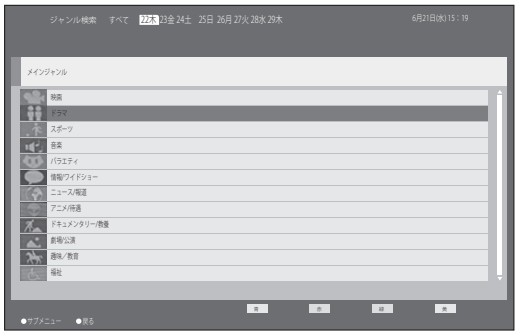
サブジャンル画面が表示されます。

4 **▲/▼方向ボタンで検索したいサブジャンルを選び決定ボタンを押す**

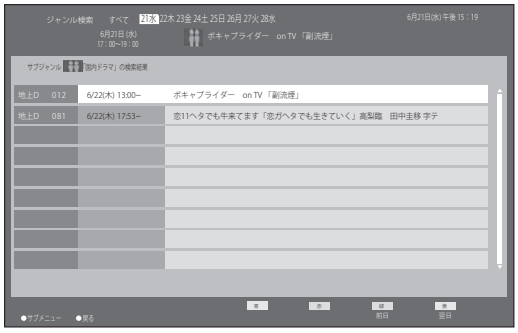
検索結果が表示されます。

5 **▲/▼方向ボタンでお好みの番組を選び 決定ボタンを押すと番組詳細画面が表示されます。**

この画面から録画予約や視聴予約ができます。







視聴制限を一時的に解除する

1 **番組表表示中にサブメニューボタンを押す**

2 **▲/▼方向ボタンで「視聴制限一時解除」を選択し、決定ボタンを押す**

「暗証番号入力」画面が表示されます

3 **数字ボタンで暗証番号を入力すると、視聴制限が一時的に解除されます**

番組データを取得する

1 **番組表表示中にサブメニューボタンを押す**

2 **▲/▼方向ボタンで「番組データ取得」を選択し、決定ボタンを押す**

表示チャンネルの範囲を変更する

1 **番組表表示中にサブメニューボタンを押す**

2 **▲/▼方向ボタンで「表示内容」を選択し、◄/► 方向ボタンで「全チャンネル」「設定チャンネル」「テレビのみ」を選択する**

お知らせ

- 番組表を閉じると表示チャンネルの範囲は元に戻ります。
- メニュー「機器設定」→「その他の設定」→「選局対象」から設定すると、表示チャンネルの範囲が固定されます。
番組表を閉じても表示チャンネルの範囲は元に戻りません。
（➡ P.37）

テレビの操作(つづき)

データ放送

番組連動データ放送を楽しむ

デジタル放送番組では、天気予報やニュース、番組案内などの連動データ放送を提供している場合があります。

1 **番組視聴中にdボタンを押す**

データ放送は放送局により表示される内容が異なります。画面に表示された操作指示に従ってください。

2 **▲/▼/◀/▶方向ボタンや決定ボタン、青/赤/緑/黄ボタンで操作する**

選択した情報を見ることができます。

3 **再度dボタンを押すとテレビ放送画面に戻ります**

データ放送について

- デジタル放送は映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送を受信できます。
- データ放送には、デジタル放送番組に連動して提供される番組連動データ放送(番組案内、ニュース、天気予報など)のほか、テレビ放送とは独立して提供されるデータ放送があります。

双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。
  クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

お知らせ

- データ放送取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、dボタンは「データ放送ボタン」、「データボタン」と表示される場合があります。
- テレビ放送チャンネルとは独立した別チャンネルで行われているデータ放送の中には、本機で利用できないものもあります。
- USBハードディスクに録画した番組を再生しているとき、データ放送はご利用いただけません。

便利な機能

ブルーライトガードを使う

ブルーライトとは、可視光線のうち、波長が380〜495nmの領域にある青色の光のことです。
液晶テレビを視聴中に目が疲れる原因として、液晶ディスプレイが発する青色の光「ブルーライト」が挙げられています。ブルーライト軽減モードにすることで、青色の光を抑えることができます。

1 **ブルーライトガードボタンを押す**

画面右下に現在のブルーライトガードモードの設定「標準」「ブルーライトガード」が表示されます。

2 **設定表示中にブルーライトガードボタンを押すとブルーライトガードモードの設定が切り換わります。**

押すごとに設定が切り換わります。

オフタイマーを使う

オフタイマーを設定しておくと、設定した時間になると自動的に電源を切ることができます。お休み前に便利な機能です。

1 **オフタイマーボタンを繰り返し押し、お好みの設定時間(オフ/30分/60分/90分)を選びます**

サブメニュー内の「オフタイマー」でも設定できます。

オンタイマーを使う

設定した時刻になると自動的に電源が入ります。時刻のほかに音量や放送/入力、チャンネルを設定できます。

1 **メニューボタンを押す**

2 **▲/▼方向ボタンを押して、「タイマー設定」→「オンタイマー」を選び、決定ボタンを押す**

3 **オンタイマーの設定を「切」のまま各項目(「時刻」「音量」「放送/入力」「チャンネル」)の設定を行います**

4 **設定が終わったらオンタイマーの設定を「入」にします**

お知らせ

- オンタイマーが働いた後、「オフタイマー」の設定が自動的に「60分」に設定されます。続けてご覧になる場合は、「オフタイマー」の設定を「オフ」に設定してください。
- オンタイマーが働いた後、「オンタイマー」の設定は自動的に「切」になります。翌日もオンタイマーを働かせたい場合は、「オンタイマー」の設定を再度「入」にしてください。

外部接続機器を表示する

本機の外部入力端子(HDMI入力、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しむ場合は、以下の操作をします。
機器の接続については、「外部機器の接続」(➡ P.17) をご覧ください。

1 **使用する外部機器の電源を入れる**

2 **入力切換ボタンを押す**

画面右上に入力切換画面が表示されます。

3 **▲/▼方向ボタンで接続している入力を選んで決定ボタンを押す**

入力切換入力切換ボタンを繰り返し押しても、「テレビ」→「HDMI1」→「HDMI2」→「ビデオ」→「テレビ」→・・・と入力を切り換えることができます。



HDMIで対応している信号

映像信号
- HDMI機器 : 480i/480p/720p/1080i/1080p(60Hz)
- パソコン : 640x480/800x600/1024x768/1360x768/1280x1024/1920x1080(60Hz)

音声信号
- リニアPCM（サンプリング周波数 : 32kHz/44.1kHz/48kHz）

HDMI連動対応機器と接続する

HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）に対応したオーディオ機器やレコーダーをHDMIケーブルで本機と接続することにより、相互に連動して操作することができます。
- 本機のHDMI1入力端子はARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。
- HDMI連動を使うには接続した機器の設定も必要です。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

1 **メニュー内の「機器設定」→「HDMI設定」→「HDMI連動」を「オン」に設定する**

「HDMI設定」内で各機能のオン/オフを切換できます。(➡ P.38)

2 **サブメニュー内の「HDMI機器設定」→「HDMI機器選択」で連動させたい接続機器を選択する**

本機のリモコンで選択した接続機器を操作することができます。

3 **接続したオーディオ機器から音声を出力したいときサブメニュー内の「HDMI機器設定」→「スピーカー選択」で接続したオーディオ機器を選択する**

- 本機の音声は消えます。本機のリモコンの音量ボタンでオーディオ機器の音量を調整できます。

4 **そのほかの連動動作を操作したい場合、サブメニュー内の「HDMI機器操作」から操作したい項目を選びます**

(➡ P.38)

お知らせ

- ARC非対応のオーディオ機器を接続する場合は、光デジタルケーブルによる本機のデジタル音声出力端子への接続が必要になります。
- HDMI2はARC非対応です。ARC対応オーディオ機器を接続する場合は、HDMI1端子へ接続してください。
- HDMI規格に適合していないケーブルは使用できません。HDMIロゴ表示があるケーブルを使用してください。
- ARC機能を使用する場合は、下記のHDMIケーブルを推奨します。
  - Standard HDMI® Cable with Ethernet
  - High Speed HDMI® Cable with Ethernet
- オーディオ機器を本機とレコーダーなどの映像機器の間に入れて接続した場合、映像機器で再生した映像と音声が一致しないことがあります。
  その場合は、オーディオ機器の音声遅延設定で調整してください。
- 接続機器によっては、一部の機能が操作できない場合があります。
- HDMI連動する機器の接続を変更したり、取り換えた場合は本機が正しく認識しない場合があります。
  その際は、再度設定を行ってください。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

本機に接続したUSBハードディスクにデジタル放送番組を録画できます。

録画できる機器と番組

本機に接続できる機器	容量が160GB以上、最大4TBまでのUSBハードディスク(USB2.0対応品に限ります) ※接続確認済みUSBハードディスクは、ホームページをご確認ください。 https://www.doshisha-orion.com/support/
本機で録画できる番組	地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送の番組

機能の特徴

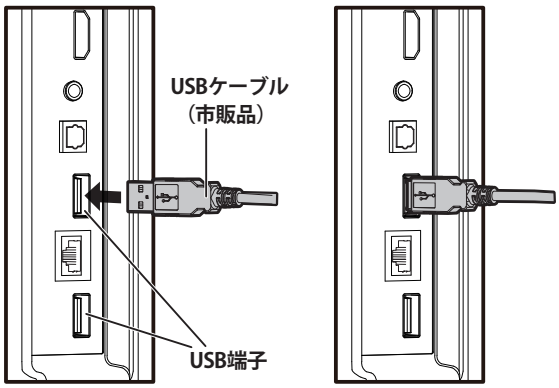
- デジタル放送番組のみ録画可能。
  (外部入力は録画できません)
- 視聴中の放送番組をワンタッチ録画。
- 番組表から予約録画が可能。
- 地上/BS・110度CSデジタルダブルチューナー
  お好きな番組を見ながら、裏番組を録画できるので同じ時間に見たい番組が重なった場合に便利です。
  ※録画中に、別の放送番組は録画できません。
- レジューム再生/追いかけ再生機能。
- ハードディスク容量1TBで、地上デジタル放送の場合約120時間分の番組を録画可能。
- オートチャプター
  番組を録画時に自動でチャプター分割し、見たいシーンから素早く再生することができます。
- 1.3倍速再生
  再生ボタンを長押しすると、音声を流したまま1.3倍の速さで再生できます。録画番組を短い時間で視聴できます。

USBハードディスクを接続する

本機の側面のUSB端子にUSBハードディスクを接続します。

お知らせ

- USBハブを経由してUSBハードディスクを使用することはできません。
- USBメモリーなどUSBハードディスク以外の機器には録画できません。
- 特殊形状のUSBケーブルをご使用の場合、USB端子に入らない場合があります。この場合は市販のUSB延長ケーブルをご使用ください。
- USBハードディスクの容量が160GB未満の場合は使用できません。



USBハードディスクを登録する

本機に未登録のUSBハードディスクを接続するとUSBハードディスクの登録画面が表示されます。

1 **「USB HDD接続確認」画面で◄/►方向ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す**

2 **確認画面で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

3 **フォーマット確認画面で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

登録作業が実行され、USBハードディスクは初期化されます。

3 **表示名を変更したいときは表示名変更画面で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

変更しない場合は、「いいえ」を選ぶ。

お知らせ

- 本機に最大8台までのUSBハードディスクを登録できます。ただし一度に接続できるのは2台です。

⚠ご注意

- パソコンや他のテレビで使用していたUSBハードディスクを本機に接続し登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。
  その際に本機で録画した番組はすべて消去されます。

録画・予約機能について（つづき）

USBハードディスクを取り外す

本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、取り外しの作業を行います。

1 **メニューを押す**

2 **▲/▼方向ボタンを押して、「機器設定」→「USB機器管理」を選び、決定ボタンを押す**

3 **▲/▼方向ボタンで取り外したいUSBハードディスクを選び、青ボタンを押す**

「この機器は安全に取り外しできます。」と表示されたら、USBハードディスクを取り外します。
登録を削除したいときは、黄ボタンを押します。
- 登録を削除するとUSBハードディスク内の番組は再生できなくなります。

お知らせ

- USBハードディスクの残量が約 120 分以下になると録画開始時にメッセージが表示されます。
- デジタル放送番組の録画では、放送番組ごとに録画番組の情報が登録されます。
- 保存できる録画番組の数は、最大 3000個です。

⚠ご注意

- 本機の電源を入れてからUSBハードディスクが起動するまでは、録画などのUSBハードディスクにアクセスする操作はできません。準備中のメッセージが出る場合は、しばらく待ってから操作してください。
- 本機では、著作権保護によりコピー禁止の情報が付加されている放送番組は録画することはできません。
- ラジオ放送および独立データ放送の番組は録画できません。
- メニューなどの画面表示部分は、録画されません。
- 録画中に停電になった場合、停電前 30 秒間の映像・音声は記録されません。
- 録画を一時停止することはできません。
- 録画開始から約 5秒以内に録画を停止した場合は、録画は保存されません。
- デジタル放送番組に連動したデータ放送はTSモードで録画されますが、録画したあとで再生した場合、データ放送の内容によっては操作できない場合があります。
- **デジタル放送において、受信状況が悪い状態（画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出たり、映像や音声が途切れたりする状態）で録画を行うと、電波の異常が原因により録画の先頭が切れたり、途中で録画が途切れたりすることがあります。**
  またこの場合、表示される録画時間と実際の再生時間が異なる場合があります。
- 録画する番組の内容によっては、残量表示時間より録画できる時間が短くなる場合があります。
- 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると録画を停止します。それまでの内容がUSBハードディスクに録画されます。
- 停電などの原因により録画が途中で中断された場合、番組表から録画予約された場合を除き、再び電源を入れても録画は再開されません。また録画された番組を正しく再生できないことがあります。
- 録画中は、メニュー、番組表、再生リストなどの画面表示の動作が遅いときがありますが、故障ではありません。
- 録画した番組を再生中に、番組説明を表示することはできますが、表示される内容は放送されている情報の一部となります。
- 予約実行時にB-CASカードが挿入されていない、またはB-CASカードの条件によっては予約実行されません。
- 次の場合には、録画予約の番組追従は行われません。
  - 毎週予約・日時指定予約で録画予約した場合
  - 番組の放送開始時刻が3時間以上延長された場合
  - 録画対象の番組の放送開始時間が早くなった場合
- 録画開始が早い予約の終了時刻と録画開始が遅い予約の開始時刻が同じときは、録画開始が早い録画予約番組の最後の1分間は録画されません。
- USBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。
  他のテレビ（同じ型番のテレビも含みます）やパソコンなどに接続して再生することはできません。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。
  USBハードディスクが故障したり、録画内容が損なわれることがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合や録画済みの番組が再生できなくなった場合の補償はできませんので、あらかじめご了承ください。

録画をする

デジタル放送番組を録画するときは、以下の操作を行います。

すぐに録画を開始する

本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、取り外しの作業を行います。

1 デジタル放送番組を見ているときに(録画 ●)録画ボタンを押す。

録画が開始されます。

- 番組終了または3時間後に録画が停止されます。メニュー内の「機器設定」→「録画設定」→「録画ボタン設定」で選べます。

2 録画を中止するには、録画中に(停止 ■)停止ボタンを押す

録画中止の画面で◄/►方向ボタンで「はい」を選び、(決定)決定ボタンを押すと録画が停止します。

お知らせ

- オートチャプター機能を「オン」に設定しておくと、録画番組を自動でチャプター分割し、見たいシーンから素早く再生できます。（➡ P.36）

⚠ご注意

- 録画または予約録画中に、電源ボタンで電源オフにしても録画を続けます。
- 録画した番組の再生中は、録画の設定を変更することはできません。一度再生を停止してください。
- 録画中に予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を停止して録画予約を開始します。
- **予約録画は先に開始した録画を優先します。**
  録画予約が重複した場合、先に開始した録画が終了後に次の録画が番組の途中から開始されます。

録画を予約する

1 [番組表]番組表ボタンを押す

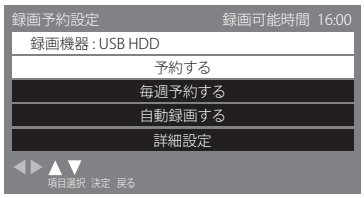
番組表が表示されます。

2 ▲/▼/◄/►方向ボタンで番組を選択し、(決定)決定ボタンを押す

番組の詳細が表示されます。

3 画面左下の「録画予約」「視聴予約」から ◄/►方向ボタンで「録画予約」を選択し、(決定)決定ボタンを押す

4



番組単位で録画予約したいとき

1. ▲/▼方向ボタンで「予約する」を選び、(決定)決定ボタンを押す。
   - 番組表で録画予約した番組に予(赤色)アイコンが付きます。
   - 最大64件まで録画予約できます。

毎週予約したいとき

毎週同じ時間帯で録画予約します。

1. ▲/▼方向ボタンで「毎週予約する」を選び、(決定)決定ボタンを押す。
2. 確認画面で、◄/►方向ボタンで「はい」を選び、(決定)決定ボタンを押す。

- 番組表で録画予約した番組に予(赤色)アイコンが付きます。

自動録画予約したいとき

放送チャンネル・時間帯・番組名などから同じシリーズの番組を自動的に予約します。
放送日や放送時間が同じでなくても録画予約されます。

1. ▲/▼方向ボタンで「自動録画する」を選び、(決定)決定ボタンを押す。
2. 確認画面で、◄/►方向ボタンで「はい」を選び、(決定)決定ボタンを押す。

- 番組表で録画予約した番組に★アイコンが付きます。
- 最大で24件まで自動録画予約できます。
- 番組名が極端に短いときや大幅に異なるときは、自動録画が行われない場合があります。
- 自動録画を設定した番組が1日に複数回放送されるときは、1回だけ自動録画されます。
- 自動録画を設定してから次回の予約が設定されるまで、1日かかる場合があります。
- 次回の放送開始時間が90分以上前後する場合は、自動録画が設定されない場合があります。
- 接続したUSBハードディスクの状態（起動中や処理中など）によっては、自動録画が行われない場合があります。
- メニュー「機器設定」→「録画設定」→「自動予約」を「オフ」を設定すると、自動録画を一時的に止めることができます。

詳細設定して録画予約したいとき

1. ▲/▼方向ボタンで「詳細設定」を選び、決定ボタンを押す。
2. ▲/▼方向ボタンで「その他の設定」を選び、決定ボタンを押し、 ◄/►方向ボタンで「録画番組のプロテクト」の「する」「しない」を選びます。
3. 戻る 戻るボタンを押して録画予約設定画面に戻り、◄/►方向ボタンで「予約する」を選び、決定ボタンを押す。

- 録画番組へのプロテクト解除・設定は、録画一覧で行えます。
- 「日時指定予約へ」を選ぶと、日時指定予約の設定画面になります。

日時を指定して録画予約したいとき

1. メニュー メニューボタンを押す
2. ▲/▼方向ボタンで「タイマー設定」→「日時指定予約」を選び、決定ボタンを押す
3. お好みにより、各項目を設定する。
   - 予約方式 ：「録画」（「見るだけ」を選ぶと視聴予約の設定ができます。）
   - 放送種別/チャンネル ：放送種別（地デジ、BS、CS）とチャンネル
   - 曜日/日 ：録画予約したい日付
   - 開始時刻 ：録画予約の開始時刻
   - 終了時刻 ：録画予約の終了時刻
   - その他の設定 ：録画番組のプロテクト設定
   - 曜日/日の設定可能な期間は、最大1年間です。また毎週・毎日の設定ができます。
4. 設定完了後に▲/▼方向ボタンで「予約する」を選び、決定ボタンを押す

録画予約を確認・変更する

1 番組視聴中にサブメニュー サブメニューボタンを押す

2 ▲/▼方向ボタンで「予約一覧」を選び、決定 決定ボタンを押す

設定した録画予約、視聴予約の一覧が表示されます。



予約を削除したいとき

1. 予約一覧表示中に▲/▼方向ボタンで削除したい番組を選び、黄ボタンを押す。
2. 確認画面で◄/►方向ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す。

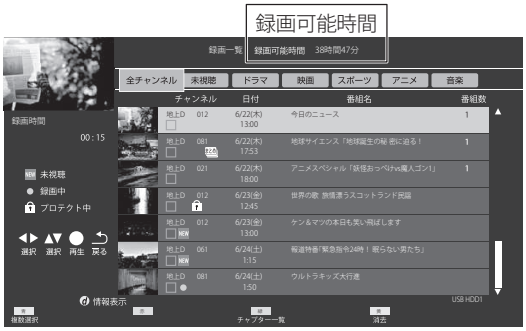
予約を変更したいとき

1. 予約一覧表示中に▲/▼方向ボタンで変更したい番組を選び、決定ボタンを押す。
2. ◄/►方向ボタンで「設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
2. ▲/▼方向ボタンで「毎週予約に変更する」「自動録画予約に変更する」「詳細設定」のいずれかを選び、設定を変更する。
   「詳細設定」で予約内容を変更した場合、変更した後「修正する」を選び、決定ボタンを押す。

録画可能時間を確認する

1 録画リスト ◯録画リストボタンを押す

録画一覧が表示されます。
録画一覧画面の上部に録画可能時間が表示されます。



録画した番組を再生する

USBハードディスクに録画した番組を見るときは、以下の操作を行います。

録画した番組を再生する

1 録画リスト **◯録画リストボタンを押す**

録画一覧が表示されます。

2 **◄/►方向ボタンで「全チャンネル」「未視聴」「ドラマ」「映画」「スポーツ」「アニメ」「音楽」のいずれかを選ぶ**

自動的に分類された録画番組が一覧表示されます。

3 **▲/▼方向ボタンで再生したい番組を選び、決定 決定ボタンまたは 再生/1.3倍速 ►再生/1.3倍速ボタンを押す**

- 8番組以上録画されている場合チャンネルボタンでページ送りできます。
- 再生を途中で停止した番組を再度再生する場合、「続きから再生」「最初から再生」を選べます。

4 停止 **■停止ボタンを押すと再生が停止できます**



＜録画番組のアイコン＞

NEW：未視聴の番組　　●：録画中の番組

：プロテクトされた番組(解除されるまで消去できません。)

まとめ：まとめられた複数の番組(毎週または日時指定予約で毎日/毎週予約を選んだ場合に録画された番組がまとめられます。)

＜録画番組再生中のリモコン操作＞

リモコンキー	内 容	リモコンキー	内 容
10秒バック	約10秒戻って再生します。	停止	再生を停止し、録画一覧が表示します。 ▼方向ボタンでも同様に働きます。
30秒スキップ	約30秒先に進んで再生します。 ▲方向ボタンでも同様に働きます。	次	次のチャプターの最初から再生します。 赤ボタンでも同様に働きます。
早送り	早送り再生します。押すたびに速さが変わります。 ►方向ボタンでも同様に働きます。	前	再生中のチャプターの最初から再生します。 青ボタンでも同様に働きます。
早戻し	早戻し再生します。押すたびに速さが変わります。 ◄方向ボタンでも同様に働きます。	緑	チャプター一覧を表示します。
一時停止/静止	再生中に押すと一時停止します。	黄	A-Bリピート再生します。
		決定	タイムシフト再生します。
再生/1.3倍速	再生を開始します。 再生中に3秒以上押し続けると1.3倍速再生されます。 一時停止、早送り/早戻し再生、1.3倍速再生中に押すと通常の再生速度に戻ります。		

録画番組を消去する

1 **録画一覧表示中に▲/▼方向ボタンで消去したい番組を選び、黄ボタンを押す**

2 **確認画面で◄/►方向ボタンで「はい」を選び、決定 決定ボタンを押すと、選んだ番組が消去されます**

追いかけ再生

番組を録画しながら、同時に録画中の番組を再生できます。

1 **録画中に(録画リスト)録画リストボタンを押す**

録画一覧が表示されます。

2 **▲/▼/◄/► 方向ボタンで追いかけ再生したい番組を選び、(決定)決定ボタンを押す**

録画中の番組には、録画中のアイコン（赤い丸）が付いています。

- (停止)停止ボタンを押しても再生は停止しますが録画は継続されます。

チャプター再生

見たい場面を選んで再生できます。

1 **録画一覧表示中に緑ボタンを押す**

チャプター一覧が表示されます。

2 **◄/► 方向ボタンで見たいチャプターを選び、(決定)決定ボタンを押す**

選んだチャプターから再生が開始されます。

- 録画番組の再生中も緑ボタンでチャプター一覧を表示できます。

ABリピート

録画番組の中で開始位置と終了位置を選んでリピート（繰り返し）再生できます。

1 **録画番組の再生中に黄ボタンを押し、A点（開始位置）を選ぶ**

2 **再度黄ボタンを押し、B点（終了位置）を選ぶ**

選んだA-B間をリピート再生します。

3 **リピート再生中に黄ボタンを押すと、ABリピートを終了できます**

タイムシフト再生

お好みの時間から再生できます。

1 **録画番組の再生中に(決定)決定ボタンを押す**

画面が一時停止し、シークバーが表示されます。



2 **◄/► 方向ボタンで再生開始したい位置を選ぶ。**

◄/►方向ボタンを離した時間から再生します。

録画番組の再生時のサブメニュー

1 **録画番組の再生中に(サブメニュー)サブメニューボタンを押す**



2 **▲/▼/◄/► 方向ボタンでお好みの項目を選び、(決定)決定ボタンを押す**

字幕言語　：複数言語の字幕が記録された番組で「日本語」「英語」を選びます
音声切換　：複数音声が記録された番組でお好みの言語の音声に切り換えます。
二重音声　：二重音声（主音声、副音声など）が記録された番組でお好みの音声に切り換えます。
視聴制限一時解除　：視聴制限を一時的に解除します。暗証番号の入力が必要です。

録画一覧のサブメニュー

1 **録画一覧表示中に(サブメニュー)サブメニューボタンを押す**



2 **▲/▼/◄/► 方向ボタンでお好みの項目を選び、(決定)決定ボタンを押す**

USB HDD選択

録画一覧で表示させたい録画番組が保存されたUSBハードディスクを選ぶことができます。

1. USB機器選択画面で▲/▼方向ボタンでUSBハードディスクを選び、(決定)決定ボタンを押してください。
   - 録画に使用するUSBハードディスクは変更されません。録画用USBハードディスクを変更したい場合は、メニューの「機器設定」→「USB機器管理」から変更してください。

視聴制限一時解除

本ページ内の"録画番組の再生時のサブメニュー"をご覧ください。

プロテクト設定変更

選択された番組がプロテクトされ、消去できなくなります。
プロテクト設定中の録画番組にはプロテクトアイコンが付きます。
解除するには、再度プロテクト設定変更を選んでください。

番組名編集

録画番組の名前を編集できます。
文字の入力方法は（➡ P.33）

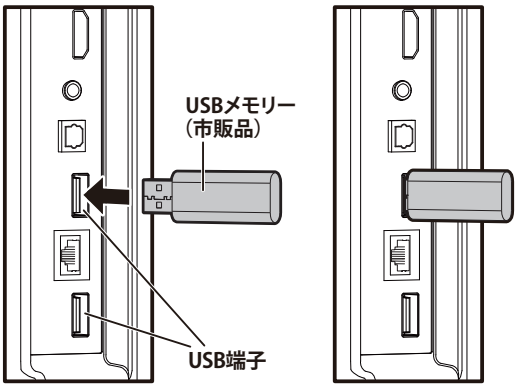
メディアプレーヤーを使う

メディアプレーヤーを起動する

画像・動画の入ったUSBメモリーまたはUSBハードディスクをUSB端子に接続すると、内容を閲覧・再生することができます。
USBメモリーについて、P.6もお読みください。

⚠ご注意

- 画像が保存されたUSBハードディスクを本機に接続するときHDD登録画面が表示されます。登録せずにご使用ください。誤って登録すると、USBメモリー内の情報はすべて消去されますので、ご注意ください。
- 以下のファイル形式をサポートしています。
  写真　jpg/jpeg （8 x 8 ～ 30,719 x 17,279 ピクセル）
  動画　mp4/m4v
  ただし上記のファイル形式すべての表示・再生を保証するものではありません。



1 **USB端子にUSB機器（USBメモリーまたはUSBハードディスク）を接続する**

2 **サブメニューボタンを押し、▲/▼方向ボタンで「メディアプレーヤー」を選び、決定ボタンを押す**

3 **USB機器選択画面で▲/▼方向ボタンで使用したいUSB機器を選び、決定ボタンを押す**

接続されているUSB機器が1つの場合は、表示されません。そのまま次の手順へお進みください。

4 **ご覧になりたいコンテンツに合わせて◄/►方向ボタンで「写真一覧」「ビデオ一覧」から選び、決定ボタンを押す**

写真を見る

1 **メディアプレーヤー画面で◄/►方向ボタンで「写真一覧」を選び、決定ボタンを押す**

写真一覧が表示されます。

2 **▲/▼/◄/► 方向ボタンと決定ボタンで再生したい画像を選んでください。**

選んだ画像が全画面表示(シングル表示)されます。



<シングル表示中のリモコン操作>

リモコンキー	内 容
►	次の画像を選びます。
◄	前の画像を選びます。
再生/1.3倍速 ►	スライドショーを開始します。 決定ボタンでも同様に働きます。
停止 ■	写真一覧に戻ります。 ▼方向ボタン、戻る戻るボタンでも同様に働きます。
一時停止/静止 ❚❚	スライドショーを開始します。再度押すとスライドショーを一時停止します。 決定ボタンでも同様に働きます。
黄	画像が90度ずつ時計回りに回転します。

スライドショー再生する

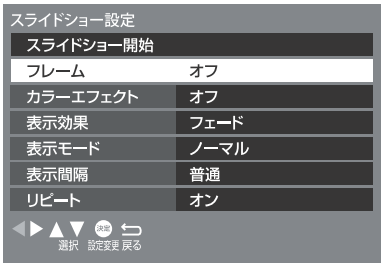
複数の画像を順番に再生します。

1 **写真一覧表示中に青ボタンを押す**

スライドショー設定画面が表示されます。

2 **▲/▼方向ボタンで「スライドショー開始」を選び、決定ボタンを押す**

スライドショー再生が始まります。
終了すると写真一覧に戻ります。



<スライドショー再生中のリモコン操作>

リモコンキー	内 容
►	次の画像を選びます。 早送りボタン、次ボタンでも同様に働きます。
◄	前の画像を選びます。 早戻しボタン、前ボタンでも同様に働きます。
再生/1.3倍速 ►	一時停止中のときにスライドショーを再開します。 決定ボタンでも同様に働きます。
停止 ■	写真一覧に戻ります。 ▼方向ボタン、戻るボタンでも同様に働きます。
一時停止/静止 ⏸	スライドショーを一時停止します。 再度押すとスライドショーを再開します。 決定ボタンでも同様に働きます。

スライドショーの設定を変更する

表示の方法や、間隔、効果などを設定できます。

1 **写真一覧表示中に青ボタンを押す**

スライドショー設定画面が表示されます。

2 **▲/▼方向ボタンで変更したい項目を選び、設定する**

フレーム　：画像の表示方法を設定できます。
「オフ」「マルチ」「コラージュ」を選びます。
カラーエフェクト：表示色の効果を設定できます。
「オフ」「セピア」「グレースケール」を選びます。
表示効果　：画像が切り換わるときの表示効果を設定できます。
「オフ」「フェード」「ディゾルブ」「モーション」「ランダム」を選びます。
表示モード　：画像の拡大表示を選びます。
「ノーマル」「ズーム」を選びます。
表示間隔　：画像が切り換わるときの表示間隔を設定できます。
「長い」「普通」「短い」を選びます。
リピート　：スライドショー再生のリピートを設定できます。
「オン」「オフ」を選びます。

メディアプレーヤーを使う（つづき）

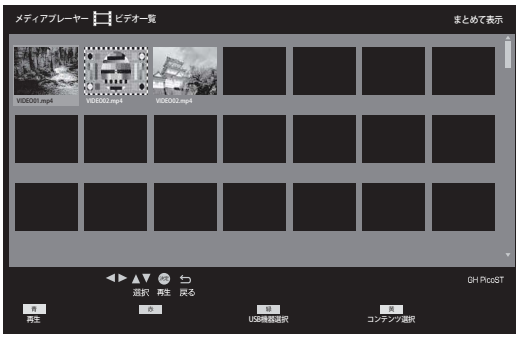
動画を見る

1 **メディアプレーヤー画面で◄/►方向ボタンで「ビデオ一覧」を選び、決定ボタンを押す**

ビデオ一覧が表示されます。

2 **▲/▼/◄/►方向ボタンと決定ボタンで再生したい動画を選んでください。**

選んだ動画が再生されます。



<動画再生中のリモコン操作>

リモコンキー	内 容	リモコンキー	内 容
サブメニュー	サブメニューを表示します。	停止 ■	再生を停止し、ビデオ一覧に戻ります。 ▼方向ボタンでも同様に働きます。
早送り ►►	早送り再生します。押すたびに速さが変わります。 ►方向ボタンでも同様に働きます。	次 ►►I	次のチャプターの最初から再生します。 赤ボタンでも同様に働きます。
早戻し ◄◄	早戻し再生します。押すたびに速さが変わります。 ◄方向ボタンでも同様に働きます。	前 I◄◄	再生中のチャプターの最初から再生します。 青ボタンでも同様に働きます。
一時停止/静止 ❚❚	再生中に押すと一時停止します。	決定	タイムシフト再生します。
再生/1.3倍速 ►	一時停止、早送り/早戻し再生中に押すと通常の再生速度に戻ります。		

リピート再生

選択した1つの動画を繰り返し再生できます。

1 **メディアプレーヤー画面でサブメニューボタンを押して「ビデオ設定」で決定ボタンを押す**

ビデオ設定画面が表示されます。



2 **▲/▼方向ボタンと決定ボタンで「リピート」を「オン」に設定する**

「オン」に設定後、再生した動画はリピート再生されます。



タイムシフト再生

お好みの時間から再生できます。

1 **動画再生中に決定ボタンを押す**

画面が一時停止し、シークバーが表示されます。



2 **◄/►方向ボタンで再生開始したい位置を選ぶ。**

◄/►方向ボタンを離した時間から再生します。

文字入力

USB機器一覧での接続機器の表示名の変更や録画番組の番組名の変更などで使用します。
文字の入力には、画面キーボードを使用する方法と携帯電話のようにリモコン数字ボタンを使用する方法があります。
文字の変換には、入力した文字ごとに変換する通常方式と入力した文字から後ろの文字を予測する方式があります。

文字の入力方法・変換方式を設定する

1 **メニューを表示して▲/▼方向ボタンと決定ボタンを使用して「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」を選びます。**

2

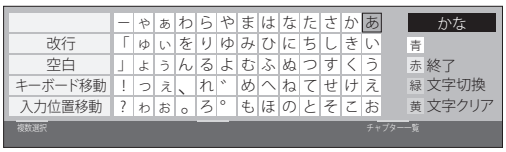
入力方法を選ぶには

1. ▲/▼方向ボタンで「入力方法」を選び、決定ボタンを押す。
2. ▲/▼方向ボタンで「リモコンボタン」「画面キーボード」を選び、決定ボタンを押す。

変換方式を選ぶには

1. ▲/▼方向ボタンで「変換方式」を選び、決定ボタンを押す。
2. ▲/▼方向ボタンで「通常方式」「予測方式」を選び、決定ボタンを押す。

画面キーボードで文字を入力する



1 **文字の種類を選ぶときは緑ボタンを押す**

押すごとに、「かな」「カナ」「英数」に切り換わります。

2 **▲/▼/◄/► 方向ボタンで文字を選び、決定ボタンを押す**

- 文字を変換しないときは、赤ボタンを押して文字を確定します。
- 文字を変換したいときは、青ボタンを押します。
  表示された変換候補の中から▲/▼方向ボタンで入力したい文字を選び、決定ボタンを押します。
- 「変換方式」が「予測方式」の場合は、▲/▼/◄/► 方向ボタンで文字を選び、決定ボタンを押します。
- 文字を消したいときは、黄色ボタンを押します。
- 文字の挿入位置や消す位置を移動したいときは、画面キーボードの左下にある「入力位置移動」を▲/▼/◄/► 方向ボタンで選び、決定ボタンを押します。
  ▲/▼/◄/►方向ボタンで挿入/削除したい位置を選び、決定ボタンを押すと入力モードに戻ります。
- 入力を途中でやめるには、戻る戻るボタンを押します。

3 **入力が終わったら赤ボタンを押す**

リモコンボタンで文字を入力する

数字ボタン-入力文字対照表をご覧になり、文字を入力してください。

1 **文字の種類を選ぶときは緑ボタンを押す**

押すごとに、「かな」「カナ」「英数」「数字」に切り換わります。

2 **数字ボタンで文字を入力する**

- 文字を変換しないときは、決定ボタンを押して文字を確定します。
- 文字を変換したいときは、表示された変換候補の中から▲/▼方向ボタンで入力したい文字を選び、決定ボタンを押します。
  変換する範囲を変更したいときは、◄/►方向ボタンで範囲を指定します。
- 同じ数字ボタンの文字を続けて入力したいときは、►方向ボタンを押してから数字ボタンを押します。
- 濁音(゛)または半濁音(゜)を入力するときは、文字に続けて 10/0 数字ボタンを押します。
- 記号を入力したいときは、「きごう」と入力し、▲/▼方向ボタンで入力したい記号を選びます。
- 「変換方式」が「予測方式」の場合は、▲/▼方向ボタンで文字を選び、決定ボタンを押します。
- 文字を消したいときは、黄色ボタンを押します。
- 文字の挿入位置や消す位置を移動したいときは、◄/►方向ボタンで位置を選びます。
- 入力を途中でやめるには、戻る戻るボタンを押します。

3 **入力が終わったら決定ボタンを押す**

数字ボタン-入力文字対照表

ボタン	文字の種類			
	ひらがな	カタカナ	英字	数字
1	あいうえお あいうえお1	アイウエオ アイウエオ1	@ . / : ¯ _ # $ % * + = ^ ` 1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、。? ! ・ ( ) 0	、。? ! ・ ( ) 0	- , ; ' " ? ! & ¥ ¦ ( ) < > [ ] { } 0	0
11	わをんゎー（スペース）	ワヲンヮー（スペース）	（スペース）	＊
12	（1つ戻る）	（1つ戻る）	（1つ戻る）	#

各種設定

メニューで設定できる項目を示します。

設定メニュー項目			設定値	内容
映像設定				
画質動作選択			鮮やか/標準/居間/映画/ダークモード/任意設定	本機にはあらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。 ・画質動作選択は、放送/各入力端子ごとに記憶されます。
画面の明るさ			0 ～ 100	お好みに合わせて見やすい明るさに設定します。
周囲の明るさ			0 ～ 100	周囲の明るさに合わせて、見やすくなるように設定します。
暗部調整			0 ～ 100	映像の暗い部分の再現性（明るさ）を設定します。
色の濃淡			0 ～ 100	映像の色の濃さを設定します。
色あい			-50 ～ 50	肌色がきれいに見えるように設定します。
輪郭強調			0 ～ 100	映像の鮮明さを設定します。
色温度			1 ～ 5	白色の色調を寒色系か、暖色系に補正するときに設定します。
動的コントラスト			オン/オフ	「オン」を選ぶと、映像に合わせ自動的に階調にメリハリを付け、コントラスト感を向上させます。
省電力モード			音声モード/明るさ制限/オフ	「オフ」以外を選ぶと、消費電力を抑えるモードを有効にできます。 音声モード： パネルを消して音声のみ出力します。何れかのボタンを押すと直前の設定に戻ります。 明るさ制限： パネルの明るさを暗くします。
ノイズ低減			自動/強/中/弱/オフ	映像のノイズやざらつきを軽減します。自動を選ぶと、映像に応じて自動的に調整します。
MPEGノイズ低減			強/中/弱/オフ	モスキートノイズ(輪郭周囲のノイズ)やブロックノイズ(モザイク状のノイズ)を軽減します。
高度な設定			入/切	映像設定で「詳細調整」を行うときに「入」を選びます。
詳細調整	黒伸長		0 ～ 15	中間より暗い部分の階調変化を調節します。
	ホワイトバランス			色温度調整.色温度をお好みに合わせて調節できます。 R（赤色）、G（緑色）、B（青色）を別々に調整できます。
		Rゲイン	-50 ～ 50	お好みに合わせ、明るい部分の色調を調整します。
		Gゲイン	-50 ～ 50	
		Bゲイン	-50 ～ 50	
		Rカットオフ	-50 ～ 50	お好みに合わせ、暗い部分の色調を調整します。
		Gカットオフ	-50 ～ 50	
		Bカットオフ	-50 ～ 50	
		調整の初期化	はい/いいえ	「はい」を選ぶと、ホワイトバランスをお買い上げ時の設定に戻します。
	ガンマ設定	ガンマ設定	1.8/2.0/2.2/2.4/2.6	映像の明暗のバランスを調節します。 数値が小さいほど、中間輝度が明るくなります。
		調整の初期化	はい/いいえ	「はい」を選ぶと、ガンマ設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	調整の初期化		はい/いいえ	「はい」を選ぶと、詳細調整をお買い上げ時の設定に戻します。
シネマ設定	シネマリアリティ		オン/オフ	「オン」を選ぶと、フィルム映像をより原画に忠実に再現します。映像にノイズなどが入り不自然に見えるときは、「オフ」を選んでください。
画面の設定	画面サイズ切替		自動/フル/ジャスト/ノーマル/ズーム/サイドカットフル/サイドカットジャスト/サイドカットズーム	お好みに合わせ、画面サイズを切り換えます。「自動」を選ぶと、放送や入力信号に合わせ自動的に画面サイズを切り換えます。 ・ 番組情報が表示されているときや番組・入力信号によっては、画面サイズ切替の項目が選べない場合があります。
	オーバースキャン		オン/オフ	「オン」を選ぶと、映像の表示領域が少しカットされ、拡大表示されます。画面周囲のちらつきをカットするときに使います。
	両横ノイズカット		標準/小	「小」を選ぶと、映像の左右の表示領域が少しカットされ、ワイド表示されます。画面左右のちらつきをカットするときに使います。
	垂直位置/大きさ			画面の位置とサイズを調整します。表示モードがジャスト/ズーム/サイドカットジャスト/サイドカットズームのときに調整できます。
	4:3映像設定		ノーマル/ジャスト	画面サイズ切替が「自動」で4:3の映像を見るとき、「ノーマル」を選ぶと4:3のオリジ ナル映像が表示され、「ジャスト」を選ぶと自動的に拡大された映像が表示されます。
調整の初期化			はい/いいえ	「はい」を選ぶと、映像設定をお買い上げ時の設定に戻します。
音声設定				
音声調整			標準	全体的なバランスを重視した音質設定です。
			音楽	音楽や歌などに最適な設定です。小音量でも迫力のある音を楽しめます。
			会話	ニュースやドラマのセリフなど、人の声が聞き取りやすい設定です。
			任意設定	高音、低音をアップするなど、お好みに合わせて調節できます。

設定メニュー項目		設定値	内容
低音		-15 ～ 15	低音をお好みに合わせて調節できます。
高音		-15 ～ 15	高音をお好みに合わせて調節できます。
イコライザー	150Hz/250Hz/500Hz/1kHz/2kHz/4kHz/8kHz/12kHz	-6 ～ +6	低音（150Hz）から高音（12kHz）まで、8 つの周波数ごとに調節できます。音声調整が「任意設定」のときに調節できます。
	調整の初期化	はい/いいえ	「調整の初期化」を選ぶと、イコライザーをお買い上げ時の設定に戻します。
バランス		L15 ～ R15	左右のスピーカーの音量バランスをお好みに合わせて調節できます。
サラウンド		オン/オフ	「オン」を選ぶと、臨場感のあるサラウンド効果を楽しめます。音がひずむときは、「オフ」を選んでください。.
ヘッドホン音量		0 ～ 100	本体スピーカー音量とは別に、ヘッドホンの音量のみ調節できます。
音量自動調整		オン/オフ	「オン」を選ぶと、音の大きさを自動的に調節し、音量の変化を抑えます。
入力音量補正		-6 ～ +6	放送から外部入力に切り換えたときなど、音量が変化する場合に、音量を補正するこ とができます。音量を調節したい放送または外部入力を視聴中に調節してください。
デジタル音声出力		自動	音声信号にあわせて、MPEG-2 AAC信号をそのまま出力、またはPCMに変換して出力します。
		PCM	接続機器がPCMのみに対応している場合に選択します。MPEG-2 AAC信号もPCMに変換して出力します。
		ビットストリーム	MPEG-2 AAC信号をそのまま出力します。
HDMI音声入力設定	HDMI1/HDMI2	デジタル/アナログ	HDMIケーブルのみで接続したときは「デジタル」を選びます。 HDMIケーブルと音声ケーブルで接続したときは「アナログ」を選びます。
音声同時出力		する	ヘッドホン接続時に、ヘッドホンと本体両方から音声が出力されます。 ヘッドホンの音量の調節は、「ヘッドホン音量」か本体の音量+/－ボタンで行います。
		しない	ヘッドホン接続時に、ヘッドホンから音声が出力され、本体からは音声が出力されません。
調整の初期化		はい/いいえ	「はい」を選ぶと、音声設定をお買い上げ時の設定に戻します。
通信設定			
ネットワーク接続	本機の名称変更		本機の名称を変更することができます。
	IPアドレス	自動取得/手動設定	IPアドレスをDHCPサーバーなどから自動で割り振られる場合は「自動取得」に設定します。
	IPアドレス		「IPアドレス」設定で「手動設定」を選んだときにIPアドレスを数字ボタンで入力します。
	サブネットマスク		「IPアドレス」設定で「手動設定」を選んだときにサブネットマスクを数字ボタンで入力します。
	ゲートウェイ		「IPアドレス」設定で「手動設定」を選んだときにゲートウェイを数字ボタンで入力します。
	DNSアドレス	自動取得/手動設定	DNSアドレスがDHCPサーバーなどから自動で割り振られる場合は「自動取得」に設定します。
	DNS		「DNSアドレス」設定で「手動設定」を選んだときにDNSを数字ボタンで入力します。
	プロキシ設定	アドレス/ポート番号	プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときに設定します。
ネットワーク状態	再接続確認	-	本機がネットワークに接続できるかを確認します。
	詳細情報	-	接続方法やアドレスなどの情報を表示します。
タイマー設定			
日時指定予約	予約方式	見るだけ/録画	「見るだけ」または「録画」を選びます。
	放送種別/チャンネル		放送種別（地デジ/BS/CS）とチャンネルを選びます。
	曜日/日		日にちの設定のほか、毎週/毎日予約の設定ができます。
	開始時刻		予約の開始時刻を設定します。
	終了時刻		予約の終了時刻を設定します。
	録画機器		予約方式が録画のときに使用するUSBハードディスクを選びます。
	その他の設定		「録画番組のプロテクト」を「する」「しない」を選びます。「する」を選ぶと、録画した番組を誤って消去しないようにプロテクト(保護)することができます。
	予約せず戻る	-	日時指定予約を中止し、ひとつ前の設定画面に戻ります。
	予約する	-	日時指定予約の設定を完了します。

次ページにつづく

各種設定（つづき）

設定メニュー項目			設定値	内容
オンタイマー	オンタイマー		入/切	「入」を選ぶと、オンタイマーが設定されます。
	時刻			電源が入る時刻を設定します。
	音量			電源が入るときの音量を設定します。
	放送/入力			電源が入るときの放送種別（地上D/BS/CS）、外部入力（HDMI1/HDMI2/ビデオ）または「設定しない」を選びます。「設定しない」を選ぶと、オンタイマーで電源が入る前のチャンネルまたは外部入力で電源が入ります。
	チャンネル			「放送/入力」で「地上D」「BS」または「CS」を選んだとき、電源が入るときのチャンネルを設定します。「設定しない」を選ぶと、オンタイマーで電源が入る前のチャンネルで電源が入ります。
	チャンネル名			「チャンネル」で選んだ放送局名が自動的に表示されます。
無操作電源オフ			入/切	「入」を選ぶと、リモコンや本体の操作が4時間以上行われない場合、自動的にリモコン電源オフになります。
無信号電源オフ			入/切	「入」を選ぶと、放送終了など、信号が無くなってから約10分後に自動的にリモコン電源オフになります。
機器設定				
USB機器管理				録画するUSBハードディスクを設定します。
録画設定	自動予約		オン/オフ	「オフ」を選ぶと、自動録画を一時的に停止します。
	録画ボタン設定		番組終了/3時間録画	録画ボタンを押して録画したときに、停止するタイミングを設定します。
	オートチャプター		オン/オフ	「オン」を選ぶと、番組の切れ目に自動的にチャプターマークを付けます。
	USB HDD待機		オン/オフ	「オン」を選ぶと、USBハードディスクを使用していないときにUSBハードディスクをスタンバイ状態にします。
視聴制限設定				視聴年齢制限のある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴できないように設定します。
	暗証番号設定			暗証番号を変更します。 数字ボタンで暗証番号(4桁)を入力してください。 ・ お買い上げ時は、暗証番号が設定されていません。 ・ 暗証番号設定後は、「視聴制限」の設定を変更するために暗証番号の入力が必要になります。
	視聴年齢制限設定		4才～19才/無制限	制限年齢を設定します。 ・ 年齢制限を超える番組は、番組表などで「....」と表示されます。
	暗証番号削除		はい/いいえ	「はい」を選ぶと、暗証番号を削除します。
表示の設定	字幕の設定	字幕	オン/オフ	字幕の表示/非表示を切り換えます。
		字幕言語	日本語/英語	字幕に表示される言語を切り換えます。
		文字スーパー	オン/オフ	臨時ニュースなどの文字スーパーを表示するかどうかを選びます。
		文字スーパー言語	日本語/英語	文字スーパーに表示される言語を選びます。
	入力表示	HDMI1	[入力名]/使用しない（スキップ）/ブルーレイ/DVD/レコーダー/ゲーム/CATV/チューナー/表示なし	外部入力への切り換え時に表示される機器名称を選びます。 ・ 使用しない(スキップ)を選ぶと、入力切換ボタンを押したときにメニューに表示されなくなります。
		HDMI2		
		ビデオ		
	タイトル表示		オン/オフ	「オン」を選ぶと、チャンネルを変更したとき、番組名を表示します。
	時計表示		オン/オフ	「オン」を選ぶと、時計を表示します。
HDMI設定				HDMIケーブルで本機と接続されている機器と、相互に連動して操作することができます。
	HDMI連動		オン/オフ	「オン」を選ぶと、「電源入連動」「電源切連動」「自動切」「レコーダ操作」を設定できます。
	電源入連動		オン/オフ	「オン」を選ぶと、接続機器の電源を入れたり、再生操作をしたときに、本機の電源も連動して入ります。
	電源切連動		オン/オフ	「オン」を選ぶと、本機の電源を切ったとき、接続機器の電源も連動して切れます。
	自動切		オン/オフ	「オン」を選ぶと、接続機器がつながれたHDMI端子以外の入力に切り換える際に接続機器の電源を自動的に切ります。
	レコーダ操作		通常/拡大	「拡大」を選ぶと、本機のリモコンでレコーダーのチャンネルや番組表などの操作ができます。

設定メニュー項目				設定値	内容
かんたん設定					(➡ P.18)
設置設定	受信対象設定	BS		使う/使わない	BSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。
		CS		使う/使わない	110度CSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。
	チャンネル設定	地上デジタル		初期スキャン	設定済みのチャンネルを削除し、受信チャンネルを設定し直します。
				再スキャン	設定済みのチャンネルを変えずに、チャンネルの追加・変更を行います。
				マニュアル	リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てを変更します。
		BS			リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てを変更します。
		CS			リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てを変更します。
	地域設定	県域設定			設定すると、お住いの地域に合わせたチャンネル設定が自動で行われます。
		郵便番号			設定すると、お住いの地域に合わせたデータ放送設定が自動で行われます。
	受信設定	地上	アッテネーター	オン/オフ	放送の電波が強すぎて、映像が不安定になる場合、「オン」に設定します。 受信レベルが45未満になる場合は、正常に受信できなくなることがあります。 その場合、アッテネーターの設定を「オフ」にして、ブースターなどの出力レベルを調整してください。
			物理チャンネル		お住まいの地域の地上デジタル放送に使用される物理チャンネルを切り換えることができます。
		衛星	アンテナ電源	オン/オフ	家庭用等のBSアンテナを個別に設置している場合、「オン」に設定します。
			トランスポンダ	-	各トランスポンダの受信レベルを確認することができます。
			衛星周波数	-	受信する周波数を変更する必要がある場合に使用します。 放送局から指示がないときは変更しないでください。
	高速起動			入/切	「入」を選ぶと、電源を入れてから映像が出るまでの時間が短縮されます。 ・年間消費電力が増加しますのでご注意ください。
	B-CASテスト			-	B-CASカードが正しく挿入されているかテストします。
システム設定	設定情報リセット			はい/いいえ	「はい」を選ぶと、全ての設定項目をお買い上げ時の設定に戻し、利用者個人情報を消去します。 ・データ放送の双方向サービスなどで得たポイントなども削除されます。 ・USBハードディスクの登録情報が削除されるため、録画番組は再生できなくなります。 ・視聴制限の暗証番号は削除されません。
	放送メール			-	放送局からのお知らせ(放送メール)を表示します。
	B-CAS情報			-	B-CASカードの「カード識別」「カードID」「グループID」情報を表示します。
	CSボード	CS1ボード		-	110度CSデジタル放送からのお知らせを表示します。
		CS2ボード		-	
	放送ダウンロード			自動	リモコン電源オフのとき、自動的に本機の最新のソフトウェアをダウンロードします。
				手動	ソフトウェアの更新があるときは「お知らせ」にメールが届きます。 メール内で「はい」を選ぶと、予定時刻にダウンロードを行います。
	ライセンス情報	ソフト情報表示		-	本機で使用しているソフトウェアプログラムに含まれるライセンス情報の詳細が表示されます。
	ルート証明書			-	ルート証明書を表示します。
その他の設定	文字入力設定	入力方法		リモコンボタン	リモコンの数字ボタンを使用して文字を入力します。
				画面キーボード	画面に表示されるキーボードを使用して文字を入力します。
		変換方式		通常方式/予測方式	予測方式を選ぶと、文字を入力するとき、変換候補を表示しま す。
	選局対象			設定チャンネル	「チャンネル設定」で設定されたチャンネルを表示します。
				テレビのみ	テレビのチャンネルのみ表示します。
				全チャンネル	テレビのチャンネルのほか、データ放送など全てのチャンネルを表示します。
機器情報					
ID表示					デコーダーIDとソフトウェアのバージョンを表示します。

次ページにつづく

各種設定（つづき）

サブメニューボタンで設定できる項目を示します。

サブメニュー項目			設定値	内容
デジタル放送番組をご覧になっているとき				
HDMI機器設定	HDMI機器選択			HDMI連動対応機器を選択します。
	スピーカー選択		TV/外部	音声をテレビから出力するか外部スピーカーから出力するか選択します。
オフタイマー			90分/60分/30分/オフ	オフタイマーを設定します。（➡ P.22）
メディアプレーヤー			-	メディアプレーヤーを表示します。（➡ P.30）
予約一覧			-	予約一覧を表示します。（➡ P.27）
チャンネル設定	地上デジタル/BS/CS			各放送の、リモコンの数字ボタンに割り当てられたチャンネルを変更します。
3桁入力選局			-	3桁のチャンネル番号を入力するときに使います。
視聴制限一時解除			-	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。
アンテナレベル			-	視聴中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。
枝番選局			-	枝番のあるチャンネルを選局します。
信号切換	マルチビュー			マルチビュー放送のとき、映像を切り換えます。
	映像			マルチアングルなどの複数の映像がある番組のとき、映像を切り換えます。
	音声			複数の音声がある番組のとき、音声を切り換えます。
	二重音声			二重音声(主音声、副音声など)が記録された番組のとき、音声を切り換えます。
	データ			複数のデータがある番組のとき、データを切り換えます。
	字幕		オン/オフ	字幕の表示/非表示を切り換えます。
	字幕言語		日本語/英語	字幕に表示される言語を切り換えます。
データ放送表示切			-	データ放送の表示を終了します。
外部入力の映像をご覧になっているとき				
HDMI機器操作				HDMIケーブルで本機と接続されている機器を操作することができます。 ・入力切換で「HDMI 1」「HDMI 2」を選んだときに表示します。 ・接続機器によっては、一部の操作ができない場合があります。本機で操作できないときは、接続機器のリモコンで操作してください。
	番組選択		-	HDMI接続機器に録画されている番組を選びます。
	ドライブ切換		-	HDMI接続機器のハードディスクとディスクドライブを切り換えます。
	画面表示		-	HDMI接続機器で視聴中の番組の情報を表示します。
	電源		-	HDMI接続機器の電源をオン/オフします。
	予約一覧		-	HDMI接続機器の予約一覧を表示します。
	リンクメニュー		-	HDMI接続機器のメニューを表示します。表示されるメニューは接続機器によって異なります。
	番組表		-	HDMI接続機器の番組表を表示します。
	セットアップメニュー		-	HDMI接続機器の設定メニューを表示します。表示されるメニューは接続機器によって異なります。
	AVシステム操作			HDMIケーブルで本機と接続されているオーディオ機器を操作することができます。
		セットアップメニュー	-	メニュー画面を表示します。
		入力切換	-	外部入力を切り換えます。
		画面表示	-	接続機器で視聴中の番組の情報を表示します。
HDMI機器設定	HDMI機器選択			HDMI連動対応機器を選択します。 接続機器から機器名を取得できた場合は、機器名を表示します。
	スピーカー選択		TV/外部	音声をテレビから出力するか外部スピーカーから出力するか選択します。
オフタイマー			90分/60分/30分/オフ	オフタイマーを設定します。（➡ P.22）
メディアプレーヤー			-	メディアプレーヤーを表示します。（➡ P.30）
予約一覧			-	予約一覧を表示します。（➡ P.27）

サブメニュー項目		設定値	内容
番組表をご覧になっているとき			
番組の検索		-	番組のジャンルを指定して、見たい番組を探すことができます。
視聴制限一時解除		-	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。
番組データ取得		-	選択した放送局の番組データを取得します。
表示内容		設定チャンネル	「チャンネル設定」で設定されたチャンネルを表示します。
		テレビのみ	テレビのチャンネルのみ表示します。
		全チャンネル	テレビのチャンネルのほか、データ放送など全てのチャンネルを表示します。
予約一覧をご覧になっているとき			
視聴制限一時解除		-	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。
全履歴削除		-	実行済みの予約履歴を一括で削除することができます。
録画一覧をご覧になっているとき			
USB HDD選択			選んだUSBハードディスクの録画一覧を表示します。
視聴制限一時解除		-	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。
プロテクト設定変更		-	録画番組を誤って消去しないようプロテクト（保護）したり、解除できます。
番組名編集		-	録画番組の番組名を変更することができます。
録画番組をご覧になっているとき			
字幕言語		日本語/英語	字幕に表示される言語を切り換えます。
音声切換			複数の音声がある録画番組のとき、音声を切り換えます。
二重音声			二重音声（主音声、副音声など）が記録された録画番組のとき、音声を切り換えます。
視聴制限一時解除		-	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。
メディアプレーヤーで写真をご覧になっているとき			
スライドショー設定			スライドショーの設定を変更できます。（➡ P.31）
	フレーム	オフ/マルチ/コラージュ	
	カラーエフェクト	オフ/セピア/グレースケール	
	表示効果	オフ/フェード/ディゾルブ/モーション/ランダム	
	表示モード	ノーマル/ズーム	
	表示間隔	長い/普通/短い	
	リピート	オン/オフ	
メディアプレーヤーで動画をご覧になっているとき			
ビデオ設定			動画再生中にさまざまな設定を変更できます。
	音声切換		複数の音声がある動画のとき、音声を切り換えます。
	二重音声		二重音声（主音声、副音声など）が記録された動画のとき、音声を切り換えます。
	字幕		字幕がある動画のとき、字幕を切り換えます。
	リピート	オン/オフ	リピート再生のオン/オフを切り換えます。（➡ P.32）

エラー表示

代表的なエラー表示について示します。

メッセージ	内容または対処のしかた
全般	
降雨対応放送に切り換わりました。(E201)	雨などの影響で降雨対応放送に切り換わりました。天候が回復すれば自動的に元の状態に戻ります。
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)	・一時的に電波状況が悪くなっている可能性があります。 ・アンテナの調節や接続を確認してください。 ・放送局の整備などによる停波の可能性があります。 ・落雷や豪雨などの気象条件により、受信できなくなることもあります。天候が回復すれば自動的に元の状態に戻ります。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。(E203)	選局したチャンネルは現在番組を放送していません。 他のチャンネルをご覧ください。
このチャンネルはありません。(E204)	選局したチャンネルは現在番組を放送していません。 他のチャンネルをご覧ください。
BS・110度CS-IF入力に接続されたアンテナ線がショートしているか、接続・設定に不具合があります。 映像が映っていない場合は、今すぐ本体の電源を切り、アンテ ナとの接続を確認してください。 映像が映っている場合、またはアンテナを接続していない場合は、決定ボタンを押してください。(E209) 衛星アンテナへの電源をオフします。	アンテナのコンバーター電源がショートしています。 アンテナやアンテナ線に問題がないか確認してください。
無信号自動オフが働きました。	前回、無信号電源オフにより電源オフした後、最初の電源投入後に表示されます。
無操作自動オフが働きました。	前回、無操作電源オフにより電源オフした後、最初の電源投入後に表示されます。
B-CASカードを正しく挿入してください。 挿入していても、このメッセージが表示される場合は、一旦電 源を切り、カードを抜いて挿入し直してください。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
操作できません。	HDMI連動対応の機器を接続してから、操作してください。
機器が接続されていません。	ARC対応のオーディオ機器を接続してから、操作してください。
このチャンネルは契約されていません。 案内画面に戻るには決定ボタンを押してください。	契約内容や契約期限などを確認し、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。 (8902)	契約内容や契約期限などを確認し、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
地上デジタルのチャンネルは設定されていません。 地上デジタルのチャンネル設定を行ってください。	地上デジタル放送のチャンネル設定を行ってください。
デジタル放送のテレビサービス以外は、静止できません。	外部入力では、静止できません。
このボタンにチャンネルは設定されていません。	チャンネル設定にて、リモコンボタンにチャンネルを設定してください。
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。 (A103)	契約内容や契約期限などを確認し、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。

エラー表示

メッセージ	内容または対処のしかた
USBハードディスクを操作しているとき	
取り外し処理中です。 しばらくお待ちください。	USBハードディスクの取り外し処理中です。メッセージが消えてからUSBハードディスクを取り外してください。
フォーマット中です。 しばらくお待ちください。	USBハードディスクの初期化中です。 メッセージが消えてから操作してください。
USB機器が見つかりません。	USBハードディスクが正しく接続されているかご確認ください。
USB端子の電源容量を超えました。 接続機器を外して、本体の電源をオフ、オンしてください。	接続した機器の電流が大きすぎる場合に表示されます。接続した機器の取扱説明書に記載のお問い合わせ先までご相談ください。
この機器は直接テレビに接続されていないので、正しく動作しない可能性があります。	USBハブは使用できません。直接、USBハードディスクを本機に接 続してください
HDDがいっぱいのため、録画できません。	USBハードディスクの空き容量が少なくなっています。 不要な録画番組を消去してください。
接続されていたUSB HDDを認識できません。	USBハードディスクが正常に接続されているか確認してください。
録画・再生用のHDDがありません。	録画用のUSBハードディスクを接続して、初期化と登録を行ってください。
デジタル放送のテレビサービス以外は、録画できません。	外部入力の信号は、録画できません。
このドライブは録画用フォーマットされていないため、録画一覧は表示できません。	録画用フォーマットされているUSB機器を接続して、録画一覧を表示してください。
ネットワーク	
家庭内ネットワークへの接続に失敗しました。 ケーブルの接続、ネットワーク設定を確認してください。	LANケーブルが正しく接続されているかご確認ください。

故障かな?と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
全般		
映像・音が出ない。	電源プラグが抜けている。	プラグを正しく接続してください。
	本体の電源が入っていない。	電源ボタンを押して、電源を入れてください。
	異なる外部入力を選択している。	入力切換入力切換ボタンを押してお望みのモードにしてください。
	外部機器が正しく接続されていない。	外部機器の接続で電源を確認してください。
音は出るが映像が出ない。	外部機器が正しく接続されていない。	外部機器の接続を確認してください。
映像は出るが音が出ない。	音量が最小になっている。	音量+ボタンを押してください。
	消音ボタンを押している。	再度消音ボタンを押しください。
	音声ケーブルが接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。
	ヘッドホンが挿入されている。	ヘッドホン端子からヘッドホンを抜くか、音声同時出力の設定をしてくだ さい。
各入力(地デジ/BS/CS/外部入力)で音量が違う。	各入力の「入力音量補正」がずれている。	各放送・各入力でこの設定が変わっていないか確認してください。
画面の一部が欠ける。	画面サイズの設定が映像信号と合っていない。	画面サイズ切替の設定を「自動」にしてください。
リモコンで操作できない。	電池の+−が逆になっている。	+−を正しく入れてください。
	電池が消耗している。	2本とも新しいものと交換してください。
	リモコンが本体の受光部に向いていない。	リモコンを正しく向けてお使いください。
	本体の電源が切れている。	本体の電源を入れてください。
突然電源が切れる。	自動電源オフ機能が働いている。	無信号電源オフと無操作電源オフを「切」に設定してください。
	オフタイマーを設定している。	オフタイマーを「オフ」にしてください。
	外部機器のパワーセーブ状態。	接続された機器の状態や接続を確認してください。
ときどき「カチッ」「ヒューン」と音がする。	本機はリモコン電源オフ時でも各種情報取得や時刻修正などのため、内部スイッチを自動で入り切りします。その際、スイッチ音が発生したり、接続したHDDの起動音がしたりします。これは故障ではありません。	
ときどき「ジー」という音がする。	ご使用中に動作音が聞こえることがあります。また、テレビと背面の壁が近いと、反響して音が大きくなることがあります。壁との距離を十分に離して設置してください。	
テレビの上部や背面が熱くなっている。	長時間使用した場合、50℃〜60℃くらいまで表面温度が上昇することがあります。これは故障ではありません。	
テレビの表面温度が高くなっている。	液晶バックライトの点灯による温度上昇です。50℃〜60℃くらいまで上昇することが あります。これは故障ではありません。	
映像内容が変わっても、前の映像が残って見える。	静止画やメニューを短時間（1〜数分以上）表示し、映像内容が変わると、前の静止画などが残像として見えることがありますが、自然に回復します。	
テレビの電源を入れたあと、ブロックノイズが 出現することがある。	ハードディスクの準備などにより、まれに生じることがあります。これは故障ではありません。	
映像や字幕の切り換わり、CMやアニメのシーンの切り換わりなどに横スジが現れる。	映像の製作方法によるものです。これは故障ではありません。シネマ設定を「オフ」にすることで、改善することもあります。	
テロップや字幕がギザギザになる。		
電源が入るまでに時間がかかる。	①電源を入れてから映像・音声が出るまでに数十秒かかる場合がありますが、故障ではありません。 ②ソフトウェア更新が行われている場合、電源を入れてから映像・音声が出るまでに時間がかかることがあります。	
すべての操作を受け付けない。	電源プラグを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。	

症状	原因	対処方法
デジタル放送について		
デジタル放送が映らない。チャンネルが受信できない。	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードを正しく挿入してください。
	UHFアンテナまたはBS/CSアンテナが設置されていない/正しい方向を向いていない。	UHFアンテナまたはBS/CSアンテナの設置・向きを確認してください。
	アンテナ線が正しく接続されていない。	アンテナ線を正しく接続してください。
	お住まいの地域を正しく設定していない。	チャンネル設定を行ってください。
画面が止まる。	アンテナをさえぎる障害がある。	障害が無いように、アンテナ位置を調節してください。
	UHFアンテナやBS/CSアンテナの向きがずれている。または受信感度の数値が低い、または高い。	アンテナの位置・角度を調節して、アンテナレベルを地デジ45以上、BS/CS50以上の値になるようにしてください。 受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。
	アンテナおよびアンテナ線に専用のものを使用していない。	専用のアンテナとアンテナ線を使用してください。
地上デジタルなのに画質が悪い。	地上デジタル放送では番組内容によりSD放送(一般画質放送)とHD放送(ハイビジョン放送)があり、SD放送の場合は HD放送と比べ画質が落ちます。	放送の内容によるもので故障ではありません。
時刻が表示されない。	デジタル放送で時刻を取得していますが、電源プラグを抜くと時刻がリセットされます。デジタル放送を視聴しないと情報が取得できず表示されません。	地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送のいずれかを視聴してください。
視聴中の番組表しか表示されない。	番組表は放送ごとに送信されてきます。表示されない放送を選局後、しばらく視聴してください。または、番組表更新のタイミング(午前3時頃)に停電などで情報を取得できなかった可能性もあります。	
急に画質や音質が低下した。	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、電波が弱くなっても受信可能な降雨対応放送に切り換わる場合があります。天候の回復により、良化します。
有料放送が視聴できない。	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードを正しく挿入してください。
	有料放送視聴契約をしていない。	視聴手続きをしてください。
字幕が出ない。	字幕のない番組を見ている。	番組説明で字幕があるかどうかを確認してください。
	字幕設定が「オフ」になっている。	字幕設定を「オン」にしてください。
映像が停止したり選局やその他操作を受け付けない。	電源プラグを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。	
HDMI入力について		
映像が出ない、乱れる。	正しく接続されていない。	ケーブルの接続を確認してください。形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。
	一部のHDMIケーブルは正常に動作しないことがあります。	別のケーブルを使用してみてください。
	接続の同期状態が悪い。	テレビおよび接続機器の電源を入れ直してください。
	対応信号に合っていない(スクリーンサイズ・解像度・周波数など)(音声にノイズが入る場合でも設定が必要な場合があります)。	テレビおよび接続機器の電源を入れ直してください。

次ページにつづく

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	原因	対処方法
HDMI連動が動作しない、正しく動作しない。	HDMI接続機器がHDMI連動に対応していない。	HDMI連動対応機器を接続してください。
	HDMI連動を正しく設定していない。	HDMI連動の設定を確認してください。 (➡ P.23)
	HDMI連動対応機器をつなぎ変えたり、取り換えた場合は、正しく動作しないことがあります。	
	HDMI機器側が正しく設定されていない。	HDMI連動対応機器側の設定を確認してください。
	使用しているHDMIケーブルが対応していない。	HDMI規格に合ったケーブルを使用してください。 - 1080pの映像信号を入力する場合は、HIGH SPEED対応品をご使用ください。 - ARC機能を使用する場合は、ARC対応品をご使用ください。
HDD録画について		
録画ができない。	録画可能時間が足りない。	不要な番組を消去し、録画可能時間を確保してください。
	録画済みタイトルが上限(3000)に達している。	不要な番組を消去してください。
	録画禁止の番組を録画しようとした。	録画禁止の番組は録画できません。
	ラジオやデータ放送、静止画を録画しようとした。	これらのソースは録画できません。
	ハードディスクへアクセス中に電源プラグを抜いた。	録画済みの番組が全て消去される可能性がありますので、ハードディスクの初期化を行ってから使用してください。
録画が途中で止まる。	録画可能時間が足りない。	不要な番組を消去し、録画可能時間を確保してください。
	途中から録画禁止の番組に変わった。	録画禁止の番組は録画できません。
	録画中に電源プラグ抜けや停電があった。	録画中に電源プラグ抜けや停電があった場合は、録画が停止します。 この場合の録画は保証できません。
録画予約ができない。	録画可能時間が足りない。	不要な番組を消去し、録画可能時間を確保してください。
	録画禁止や、未契約の番組を録画しようとした。	録画禁止の番組や、未契約の番組は録画できません。
再生できない。	録画時の異常などにより、正常に録画されなかった番組を再生しようとした。	正常に録画できなかった番組は再生できません。
再生画面にブロックノイズが出る。	元映像にブロックノイズがある。 天候などにより、受信状態が悪化した。 画面の激しい動きに映像処理が対応できない。	これは本機の故障ではありません。
	ハードディスクの物理エラーが発生している。	エラーが多発する場合は、ハードディスクの取扱説明書などを参照してください。
録画済の番組を消去できない。	プロテクトされている番組を消去しようとした。	プロテクトされている番組を消去する場合は、プロテクトを解除してください。
録画予約した番組が正しく録画されていない。	録画可能時間が足りない。	不要な番組を消去し、録画可能時間を確保してください。
	予約録画の実行中に、受信障害や放送休止になっていた。	正常に受信できない場合や、休止などがあった場合、録画できません。
	録画中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	録画中に停電や電源プラグが抜けるなどがあると、番組が消失することがあります。 消えた番組は補償されません。
	予約時間が重なっている。	先に予約した番組の録画が終了すると、後に予約した番組の録画が開始されます。
	放送ダウンロードが行われた。	放送ダウンロード中は、録画できません。
録画した番組がすべて消えた。	録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	録画中や再生中に停電が発生したり、電源プラグが抜けたりすると、録画番組が消失するおそれがあります。消えた番組は補償されません。
メニューや番組表などの表示が遅いことがある。	録画中など、テレビの内部処理が一時的に重くなっている場合に、動作が遅くなることがあります。これは故障ではありません。	

症状	原因	対処方法
ネットワークについて		
家庭内ネットワークへの接続に失敗している。イーサネット通信ができない（LAN端子を使った双方向サービスができない）。	接続できていない。	ハブを使用している場合は、ハブのLinkランプを確認し、点灯/点滅していない場合は、ケーブルの接続や、ケーブルの種類を確認してください。（詳しくは、ハブの取扱説明書をご覧ください。）
	ネットワーク設定でIPアドレスが「0.0.0.0」になっている。	IPアドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを設定してください。
	DHCPが動作していない。	ルータの設定を再確認後、ルータを再起動してください。
	ネットワーク機器のトラブル。	本機は、すべてのネットワーク機器に対して動作を保証するものではありません。 またネットワーク機器の機能やコンテンツによって動作が異なります。

⚠ご注意

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズが入った場合などに誤動作を起こすことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 室温や湿度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮することで"ビシッ"と音がする場合がありますが、故障ではありません。

それでも問題が解決しないときは…

何らかの理由でテレビが一時的な誤動作を起こしている可能性があります。
電源プラグを抜き挿しすることにより、改善されることがありますので、以下の手順を参照の上お試しください。

1. テレビ本体および接続機器の電源を切ってください。
2. テレビの電源プラグをコンセントから抜く。
3. 電源ランプが消えてから2分ほど置いて、電源プラグをコンセントに差し込む。
4. テレビ本体の電源を入れてください。

主な仕様

型番		OL50SE100
液晶パネル	画面サイズ	50V型
	バックライト	LED
	画素数	1920 x 1080
	アスペクト比	16：9
	視野角	左右：約178°/上下：約178°
受信チャンネル		地上デジタル： UHF（13～62ch） CATVパススルー（VHF、UHF）対応 BSデジタル：BS（000～999ch） 110度CSデジタル：CS（000～999ch）
チューナー		地上デジタル× 2、BS・110 度 CS デジタル× 2
音声出力（スピーカー）		8W + 8W
外形寸法	スタンドなし(約)	111.1（幅）x 6.7（奥行）x 64.2（高さ） [cm]
	スタンドあり(約)	111.1（幅）x 27.4（奥行）x 70.1（高さ） [cm]
質量	スタンドあり(約)	7.9ｋｇ
入出力端子	HDMI入力	2系統 HDCP対応、CEC対応 ARC対応（HDMI 1のみ）
	ビデオ入力	1系統 3.5mmミニジャック
	ヘッドホン出力	1系統 3.5mmミニジャック
	デジタル 音声出力	1系統 光デジタル角形
	LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX
	USB端子	2系統 録画用・メディア/サービス用(USB2.0)
電源		AC100V（50/60Hz）
消費電力		82W（AC100V）
待機時消費電力		0.5W （リモコン電源オフ時、高速起動「切」）
区分名		b
年間消費電力量		94k Wh/年 （画質動作選択「標準」時）
付属品		リモコン×1個、単4形乾電池×2本、mini B-CASカード×1枚、B-CASカードカバー×1個、 B-CASカードカバー固定用ネジ×1本、本体スタンド×2個、スタンド取付用ネジ×4本、 ビデオ入力用変換ケーブル×1本、取扱説明書×1部、 転倒防止用フック×2個、転倒防止用フックネジ×2本

年間消費電力量とは ：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した一年間に使用する電力量です。

区分名とは ：省エネルギー法では、テレビの画素数およびパネルの種類に基づいた区分を行っています。その区分名称となります。

● 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
● 外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
● 本機をご使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan.

MEMO

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは
保証書をお手元にご用意の
上お問い合わせください。

WEB
からの
お問い合わせ

ドウシシャお客様サポート

https://www.doshisha.co.jp/support/

ドウシシャのパーツ購入は ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché ONLINE STORE 公式オンラインストアで

https://www.doshisha-marche.jp/

お電話からの
お問い合わせ

☎0120-104-481

【受付時間】9:00～17:00（祝日以外の月～金曜日）

修理品
発送先

ドウシシャ
福井カスタマーセンター
〒915-0801
福井県越前市家久町41-1

※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付けることができません。

株式会社ドウシシャ

https://www.doshisha.co.jp/

9A26A